

農薬抄録

一般名 : イミノクタジンアルベシル酸塩

(殺菌剤)

(作成年月日) 平成5年12月1日

(改定年月日) 平成6年6月15日

平成8年12月1日

平成9年8月1日

平成11年1月18日

平成12年1月11日(抜粋版)

平成12年8月8日(抜粋版)

平成19年2月5日(抜粋版)

平成21年6月1日

平成30年6月15日

(作成会社名) 日本曹達株式会社

(作成責任者・所属) 農業化学品事業部 登録部 部長

(会社名)	(担当部課)	(担当者名)	(TEL)
連絡先 日本曹達株式会社	農業化学品事業部		
	登録部		

目 次

I. 開発の経緯	経緯－ 1
II. 物理化学的性状	物化性－ 1
III. 生物活性	活性－ 1
IV. 適用及び使用上の注意	適用－ 1
V. 残留性及び環境中予測濃度算定関係	
1. 作物残留試験	残留－ 1
2. 乳汁試験	残留－ 6 8
3. 土壌残留試験	残留－ 7 1
4. 後作物残留試験	残留－ 7 3
5. 水質汚濁性	残留－ 7 3
VI. 有用動植物等に及ぼす影響	有用－ 1
VII. 使用時安全上の注意、解毒法等	使用時－ 1
VIII. 毒性	
毒性一覧表	毒性一覧－ 1
1. 原体	
急性毒性	毒A－ 1
皮膚感作性	毒A－ 6
急性神経毒性	毒A－ 8
急性遅発性神経毒性	毒A－ 9
9 0日間反復経口投与毒性	毒A－ 1 0
2 1日間反復経皮投与毒性	毒A－ 2 0
9 0日間反復吸入毒性	毒A－ 2 0
2 8日間反復経口投与遅発性神経毒性	毒A－ 2 0
反復経口投与神経毒性	毒A－ 2 1

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

1 年間反復経口投与毒性及び発がん性	毒A-25
繁殖毒性	毒A-70
催奇形性	毒A-80
変異原性	毒A-90
生体機能に及ぼす影響	毒A-101
補足試験	毒A-109
2. 原体混在物及び代謝物の毒性	毒B-1
3. 製剤	
水和剤	
急性毒性	毒C-1
皮膚に対する刺激性	毒C-7
眼に対する刺激性	毒C-8
皮膚感作性	毒C-10
フロアブル	
急性毒性	毒C-13
皮膚に対する刺激性	毒C-18
眼に対する刺激性	毒C-19
皮膚感作性	毒C-21
IX. 動植物及び土壌等における代謝分解	運命-1
[附] 開発年表	年表-1

I. 開発の経緯

1,1'-イミノジ（オクタメチレン）ジグアニジン（一般名：イミノクタジン）及びその酸付加塩は、グアニジン系化合物で、1964年英国のEvans Medical Ltd.によって発明された。当時その系列下にあったMurphy Chemical Ltd.により農園芸用殺菌剤としてわが国に紹介された。その後、本化合物の一切の権利は1972年にスウェーデンのCasco Gard AB（1976年にKeno Gard ABと社名変更、1989年 Rhone-Poulenc に合併された）に譲渡された。

当時 Casco Gard ABは、高純度イミノクタジンを経済的な価格で製造することは不可能と判断し、合成中間体のポリアミン混合物をそのまま精製することなく非選択的にグアニジノ化して、得られたグアニジノ化ポリアミン混合物の酢酸塩を、麦類の種子消毒剤、ジャガイモの塊茎消毒剤、柑橘・メロン類の貯蔵病害防除剤として商品化した。

我が国では大日本インキ化学工業株式会社が独自にイミノクタジンの製造法を開発し、その酢酸塩は1978年に農林水産省の「新農薬開発促進事業」を受け、1983年にリンゴ腐らん病、ブドウ晩腐病、柑橘貯蔵病害、麦の種子消毒、芝の葉枯病で登録になり、その後麦の雪腐病、リンゴの諸病害等に適用が拡大され、現在販売中である。

イミノクタジンそのものは幅広い植物病原菌に殺菌効果を有する化合物であるが、塩の種類によっては農作物に薬害を起こすことがあり、適用する作物を限定せざるを得ない状況で、また、イミノクタジンは分子内に強塩基のイオン性を示すグアニジノ基を2個有する化合物であるため、陰イオン性の化合物とは容易に塩を形成し、他薬剤と混合すると凝集、沈殿を起こすことがある。イミノクタジンを含有する農薬としての効果を十分に発揮させるためには先ず、農作物に対する薬害を軽減する必要がある、併せて使用者の安全性と他薬剤との混用性を改善する必要がある、その研究に取り組んだ。イミノクタジンの誘導体や薬害を軽減させると考えられる物質について試験したが、大部分のものは薬害軽減効果が認められなかった。この様な状況の下で、1983年にある種の脂肪酸の塩は効果を低下させる事なく薬害が軽減する事実を見いだした。

そこでイミノクタジンと塩を形成する有機酸、即ち一連の脂肪酸、有機硫酸、有機スルホン酸、有機リン酸等の塩を合成し、イミノクタジンに対して感受性の高い大豆幼植物を指標として薬害試験と共に急性毒性試験を実施した。また、イオン性についても物性の試験を実施した。その結果、有機酸

の分子量が大きくなるにつれて薬害が軽減することがわかり、また分子量がある限度を越えると薬害は更に軽減するが、効果も低下することが明らかになった。イミノクタジンの効果を低下させずに薬害を最も軽減できる有機酸として、広く一般的に使われている界面活性剤成分であるアルキル（ドデシル）ベンゼンスルホン酸が選定され、その中でも特に環境中での微生物分解性を考慮してアルキル基が直鎖状のソフト型を採用した。この化合物は急性毒性上で改善がみられ、イオン性も減少することから他薬剤との混用については殆ど問題ないことが明らかになった。そこで本化合物の試験番号をDF-250（イミノクタジンアルベシル酸塩）として1985年から農薬登録に必要な薬効、薬害、毒性等の一連の試験を開始した。1993年8月に新規登録申請を行い1994年11月に登録を取得した。

1983年に既に農薬登録されたイミノクタジン酢酸塩と比較するとイミノクタジンアルベシル酸塩は次のような特長がある。

1. 農作物に対する薬害が軽減し、より広範囲の作物への適用が可能になった。
2. 急性経口毒性、眼刺激性、皮膚刺激性、吸入毒性について安全性が向上した。
3. 原体は水不溶性でイオン性が減少し、他薬剤との混用が可能となった。

現在、国内において単剤では40%水和剤及び30%フロアブル剤が登録され、果樹（なし・りんご・もも・小粒核果類等）、野菜（うり類、なす科野菜等）、茶などに使用されている。さらに、混合剤ではイミノクタジンアルベシル酸塩・キャプタン水和剤（りんご）、イミノクタジンアルベシル酸塩・チウラム水和剤（なし）、イミノクタジンアルベシル酸塩・フェンヘキサミド水和剤（かんきつ等）、イミノクタジンアルベシル酸塩・MEP粉剤（だいず）などの登録がある。

また、海外ではアジア、中南米を中心に登録を取得しているが、米国・EUでの登録はない。

諸外国での農薬登録状況は以下のようになっている。

<u>国名</u>	<u>商品名</u>	<u>作物</u>	<u>適用病害</u>	<u>使用濃度</u>
韓国	BELLKUTE (40%水和剤)	トマト	灰色かび病	2000倍
		なし	黒星病	2000倍
		朝鮮人参	黒星病	1000倍
		かき	落葉病	1000倍
		もも	黒星病	1000倍
		りんご	輪紋病	1000倍
			斑点落葉病	1000倍
		すいか	炭疽病	2000倍
			つる枯病	1000倍
		きゅうり	うどんこ病	2000倍
		かんきつ	そうか病	1000倍
			灰色かび病	2000倍
			貯蔵病害	2000倍
		キイフルーツ	果実軟腐病	1000倍
		にんにく	葉枯病	1000倍
	灰色かび病	2000倍		
	とうがらし	炭疽病	1000倍	
台湾	双頭鷹 (BELLKUTE) (40%水和剤)	なし	輪紋病	1000倍
中国	百可得 (40%水和剤)	かんきつ	貯蔵病害	1000 ～2000倍
		りんご	斑点落葉病	800～1000倍
		アスパラガス	茎枯病	800～1000倍
		トマト	灰色かび病	450～750g/ha (1500～2500倍)
ベトナム	BELLKUTE (40%水和剤)	水稲	ごま葉枯病	450 g/ha
		きゅうり	うどんこ病	350～500 g/ha
		マンゴ	炭疽病	750～1000 g/ha
		ぶどう	うどんこ病	350～450 g/ha
エジプト	BELLKUTE (40%水和剤)	ばれいしょ	夏疫病	1000g/100L
		ぶどう	うどんこ病	50 g/100L
		キュービット	うどんこ病	50 g/100L

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

<u>国名</u>	<u>商品名</u>	<u>作物</u>	<u>適用病害</u>	<u>使用濃度</u>
トルコ	BELLKUTE (40%水和剤)	野菜	灰色かび病等	50~100 g/100L
		かんきつ	貯蔵病害	50 g/100L
		ぶどう	うどんこ病	75 g /100L
		りんご	黒星病等	75 g /100L
ヨルダン	BELLKUTE (40%水和剤)	きゅうり	灰色かび病等	10 g/20L
		すいか	うどんこ病	20 g/20L
		りんご	黒星病	75 g /100L
		もも等		
ブラジル	BELLKUTE (30%フロアブル)	コーヒー	フザリウム オキシス ポラム	1~2L/ha
		たまねぎ	アルタナリア ソラニ	100 ~150mL/100L
		もも	菌核病	100 ~150mL/100L

上記以外に、タイ、インドネシア、フィリピン、イラク、レバノン、クウェート、オマーン、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、イスラエル、シリア、ケニア、モロッコ、ベネズエラ、エクアドル、コロンビア、パナマ、グアテマラに登録がある。

II. 物理的・化学的性状

1. 有効成分の名称及び化学構造

1) 一般名

イミノクタジンアルベシル酸塩 (ISO名)
iminooctadine tris(albesilate) (ISO名)

2) 別名

商品名: ベルクート
試験名: DF-250

3) 化学名

1,1'-イミノオジ (オクタメチレン) ジグアニジニウム =
トリス (アルキルベンゼンスルホナート) (MAFF名)

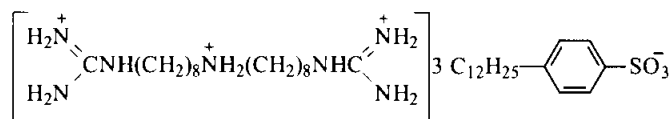
1,1'-iminodi(octamethylene)diguanidinium tris(alkylbenzenesulfonate)
(MAFF name)

1,1'-イミノジ (オクタメチレン) ジグアニジン =
トリス (アルキルベンゼンスルホナート) (IUPAC名)

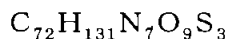
1,1'-iminodi(octamethylene)diguanidine tris(alkylbenzenesulfonate)
(IUPAC name)

N,N-(iminodi-8,1-octanediyl)bis[guanidine] compound with
4-dodecylbenzenesulfonic acid (1 : 3)(CAS name)

4) 構造式



5) 分子式



6) 分子量

1335.1

7) CAS 登録番号

169202-06-6

2. 有効成分の物理化学的性質

- 1) 色調： 白
JIS Z 8102 準拠 JIS 色名帳(1993)との目視比較
㈱三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 2) 形状： 固体(粉末)
目視観察(常温常圧)
㈱三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 3) 臭気： 無臭
官能法(常温常圧)
㈱三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 4) 密度： 1.03 g/cm³ (22°C)
OECD テストガイドライン 109 比重瓶法
㈱三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 5) 融点： 87.8 °C~96.8°C
OECD テストガイドライン 102 液浴中毛細管法
㈱三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 6) 沸点： 求められず(200°Cで分解)
OECD テストガイドライン 103 Siiwoloboff 法
㈱三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 7) 蒸気圧： < 1.6 x 10⁻⁴ Pa (60°C) [-5 Pa]
OECD テストガイドライン 104 気体流動法
(財)化学品検査協会 化学品安全センター 1987
- 8) 溶解度： 水 6 x 10⁻³ g/L (20°C)
[1.6 x 10⁻³ g/L]
OECD テストガイドライン 105 カラム流出法
大日本インキ化学工業㈱ 1988年

n-ヘキサン	< 0.8 × 10 ⁻³ g/L [<lt; 0.21="" 10<sup="" ×="">-3 g/L*] (20°C)</lt;>
キシレン	9 × 10 ⁻³ g/L [2.4 × 10 ⁻³ g/L*] (20°C)
ジクロロメタン	54 × 10 ⁻³ g/L [15 × 10 ⁻³ g/L*] (20°C)
アセトン	150 × 10 ⁻³ g/L [41 × 10 ⁻³ g/L*] (20°C)
メタノール	616 g/L[164 g/L*] (20°C)
エタノール	412 g/L[110 g/L*] (20°C)
酢酸エチル	10 × 10 ⁻³ g/L [2.7 × 10 ⁻³ g/L*] (20°C)

OECD テストガイドライン 105 フラスコ法
㈱三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP (メタノールのみ非 GLP)

*：親化合物を直接分析することが困難であるため、測定対象はイミノクタジンとした。親化合物と数値が異なるものは[]内にイミノクタジン換算値を記載した。

- 9) 解離定数：解離せず
OECD テストガイドライン 112 分光光度法及び電気伝導度法
㈱三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 10) オクタノール/水分配係数 (log Pow) : 1.14 (25°C)
OECD テストガイドライン 107 フラスコ振とう法
㈱三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 11) 生物濃縮性：log Pow が 3.5 以下のため未実施
- 12) 土壌吸着係数：K_{oc}($2.60 \times 10^4 \sim 3.0 \times 10^5$) (25°C)
K=617~3107
OECD テストガイドライン 106
バテル研究所 1993年 GLP
- 13) 加水分解性：pH4、7 および 9 の緩衝液中で安定
半減期 分解率は低く算出できず
試験温度 50°C
試験濃度 約 3ppm
加水分解試験、OECD テストガイドライン 111
バテル研究所 1993年 GLP
- 14) 水中光分解性：滅菌蒸留水 $t_{1/2}$ 8.24 日 (24.0°C, 599 w/m², 290-800nm)
滅菌自然水 $t_{1/2}$ 1.83 日 (29.7°C, 613 w/m², 290-800nm)
バテル研究所 1993年 GLP
- 15) 安定性：328°Cまで安定
(N₂雰囲気下、熱重量分析 (TGA)・示差熱分析 (DTA) 法)
OECD テストガイドライン 113
大日本インキ化学工業㈱研究所分析センター 1999年

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

- 16) スペクトル：OECD テストガイドライン 101(①)、
大日本インキ化学工業(株) 1998～1999 年

①紫外可視 (UV-VIS) 吸収スペクトル

	最大波長(nm)	モル吸光度係数(ε)	バンド幅(nm)
中性	261.8	1.067x10 ³	25.9
酸性	261.6	1.091x10 ³	26.2
アルカリ性	261.7	1.078x10 ³	26.5

②赤外 (IR) 吸収スペクトル

主な吸収波長(cm ⁻¹)	官能基	振動の型
670 688	芳香族 C-H	面外変角振動
1181	アルベシル酸塩 S=O	伸縮振動
1467	芳香族 C=C	伸縮振動
1632 1671	NH ₂ グアニジノ基由来	面内変角振動 伸縮振動
2855 3187	脂肪族 NH ⁺ , NH ₂ ⁺	伸縮振動
2927	脂肪族 C-H	伸縮振動
2955	芳香族 C-H	伸縮振動
3380	脂肪族 N-H, N-H ₂	伸縮振動

③質量 (MS) スペクトル

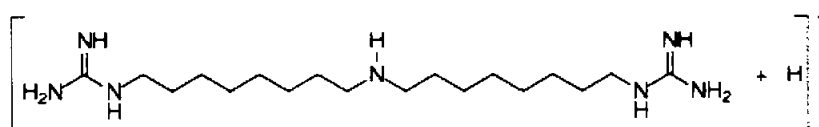
質量分析計 (MS)

イオン化法：FAB 法 (マトリクス：3-ニトロベンジルアルコール)

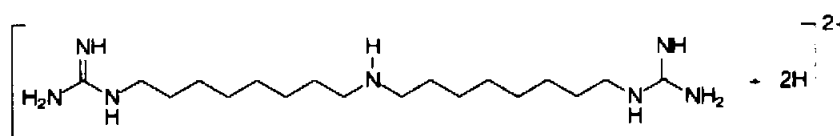
測定イオン種：正、負

FAB 正イオン測定

m/z 356.4

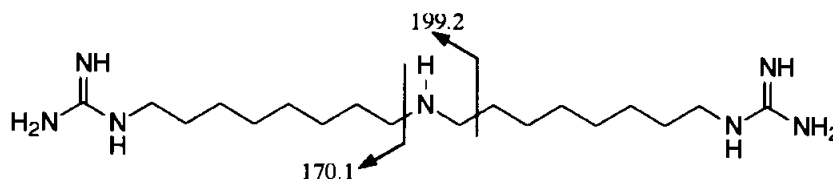


m/z 178.7



本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

m/z 170.1, m/z 199.2

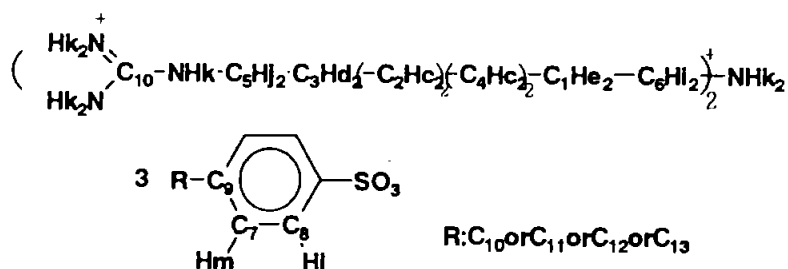


C-C または C-N 結合が開裂して生成したフラグメントイオン

FAB 陰イオン測定 m/z297.2, m/z311.3, m/z325.3, m/z339.4

各ピークはアルベシル酸塩アニオンに由来する分子イオンに相当する。

④核磁気共鳴スペクトル (^1H NMRスペクトル、 ^{13}C NMRスペクトル)



^1H NMRスペクトルの帰属

水素 No.	ケミカルシフト (ppm)	ピーク開裂の様式*
H(a)	0.7~0.9	m
H(b)	1.0~1.3	m
Hc	1.3~1.4	bs
Hd	1.5~1.6	m
He	1.6~1.7	m
H(f)	2.4~2.5	m
H(g)	2.5~2.6	m
H(h)	2.65~2.8	m
Hi	2.96	t
Hj	3.14	t
Hk	4.84	s
Hi	7.22	d
Hm	7.75	d

()付きは未帰属

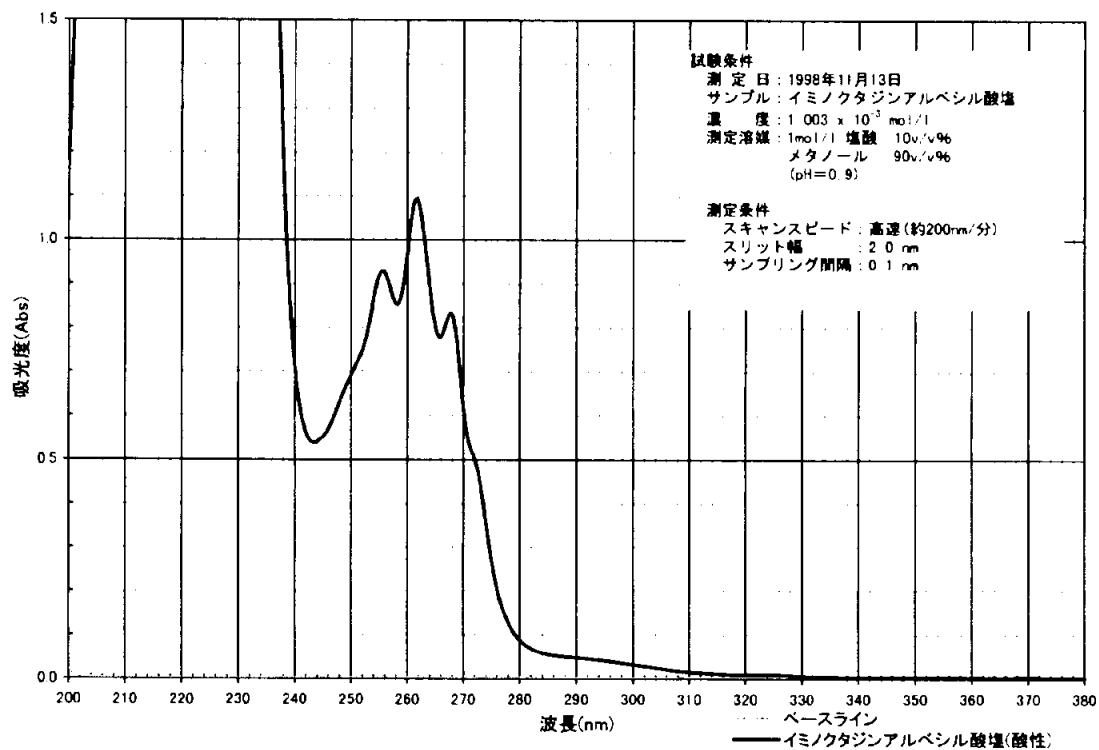
*s シングレット d ダブルレット t トリプレット m マルチプレット bs ブロード・シングレット

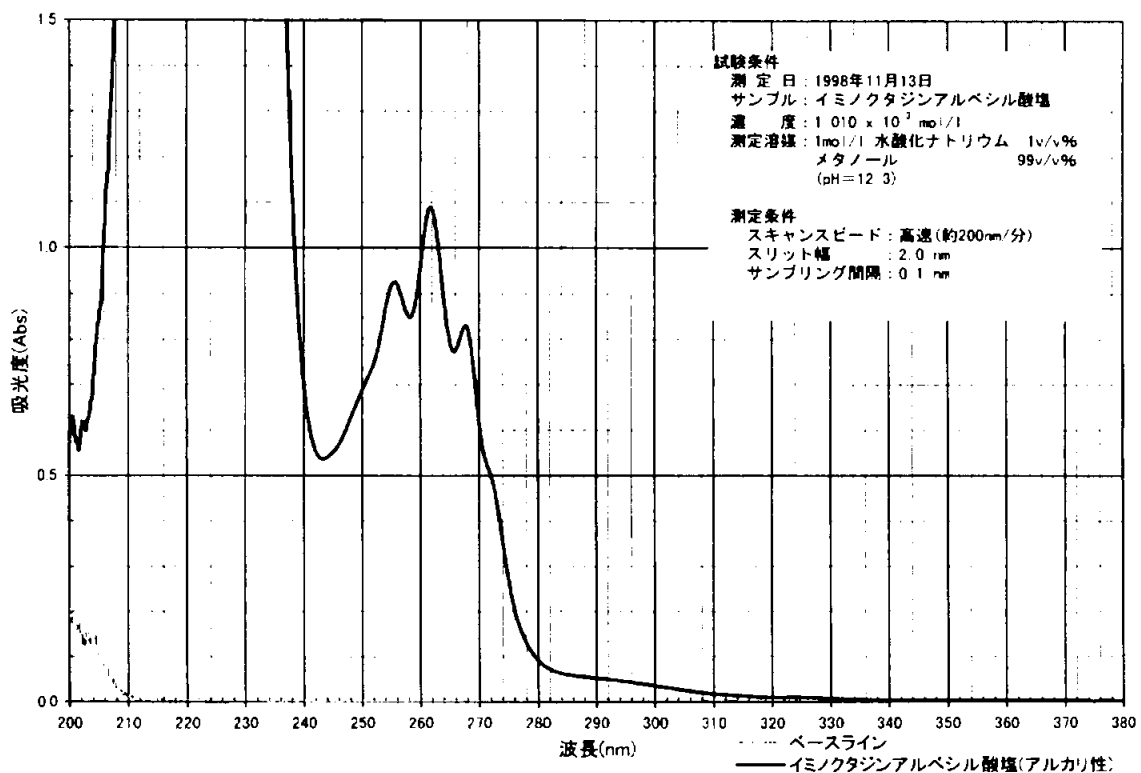
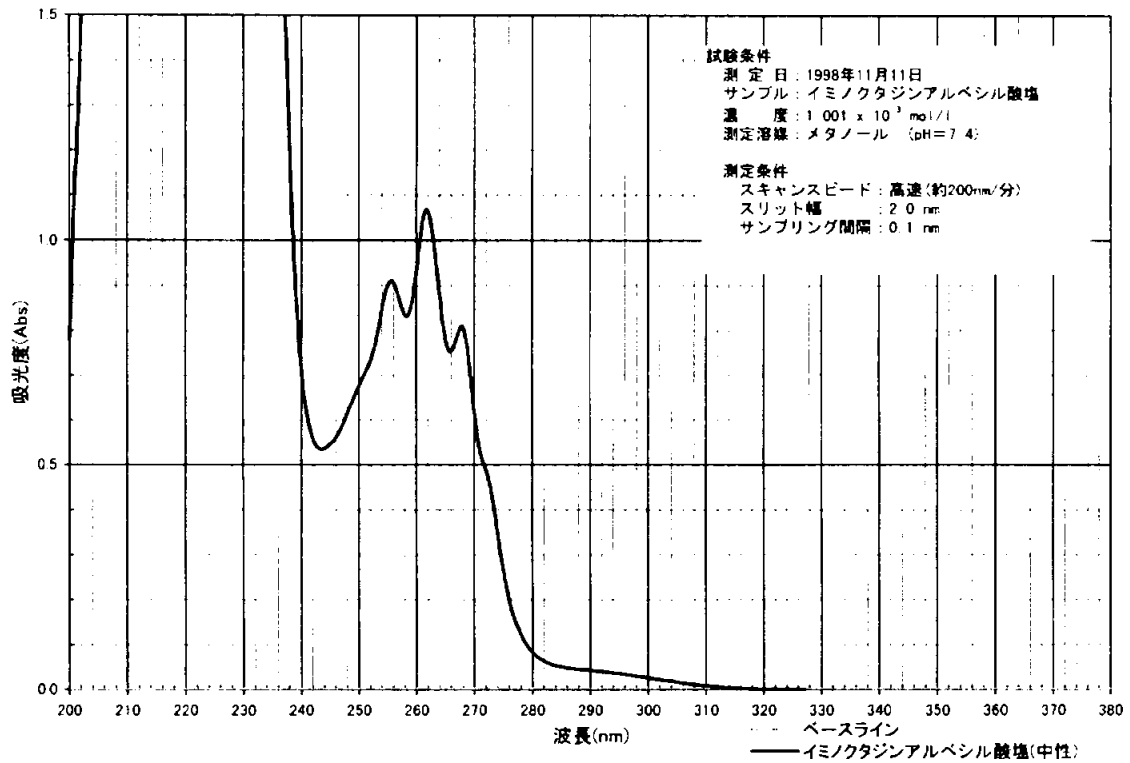
¹³C NMRスペクトルの帰属

炭素 No.	ケミカルシフト (ppm)
C ₁	27.2
C ₂	27.5
C ₃	29.7
C ₄	29.9
C ₅	42.5
C ₆	49.1
C ₇	127.0
C ₈	128.7
C ₉	143.8
C ₁₀	158.6

紫外可視 (UV-VIS) 吸収スペクトル

装置：(株)島津製作所 UV-1600PC

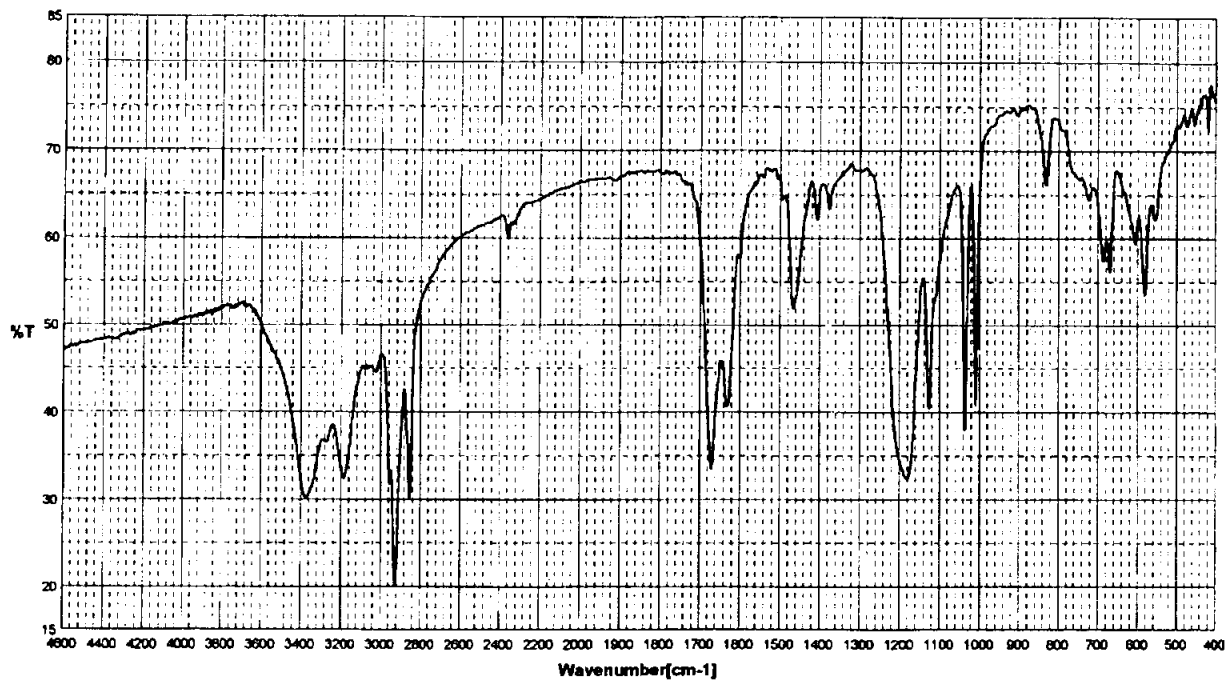




赤外 (IR) 吸収スペクトル (KBr法)

装置：フーリエ変換赤外分光光度計 (FT/IR 550、日本分光㈱)

スペクトル 1
イミノクタンアルベシル酸塩の赤外吸収スペクトル(KBr法)

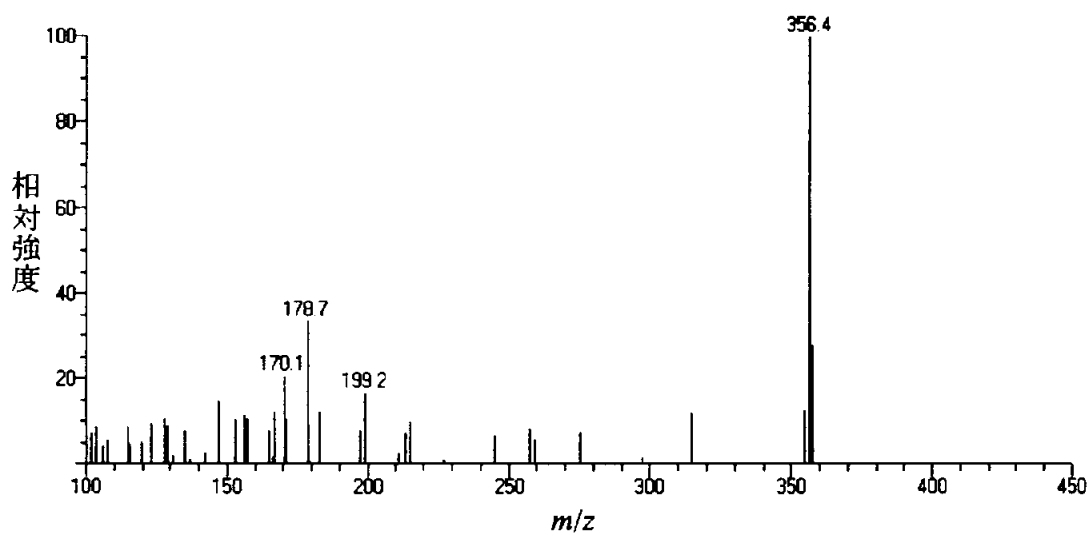


サンプル名:	イミノクタンアルベシル酸塩	積算回数:	257
分解:	4 cm ⁻¹	日付:	99/03/09 14:40
アボダイゼーション:	Cosine		

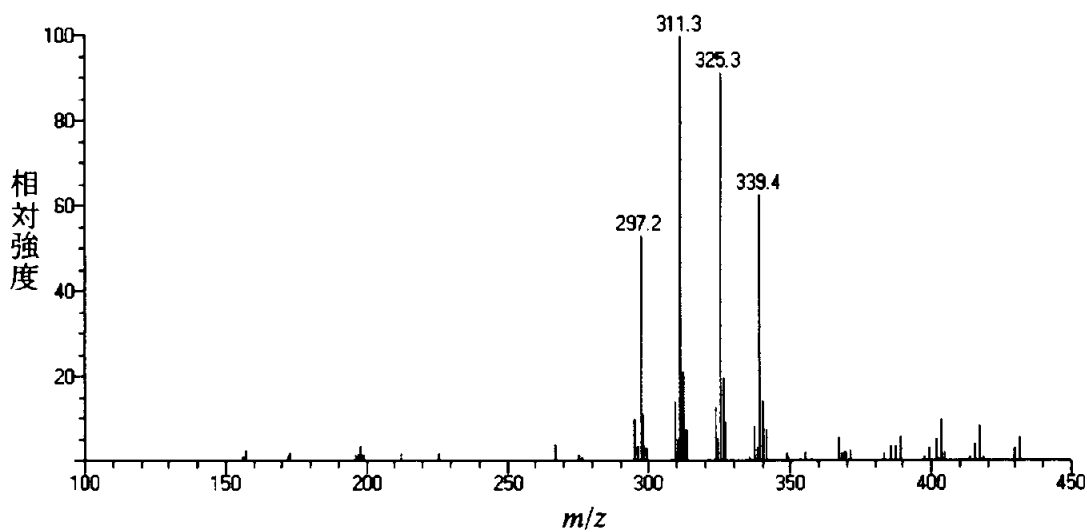
質量 (MS) スペクトル

装置：質量分析計 JMS-LX2000、日本電子株

イオン化法：FAB 法、測定イオン種：正、負



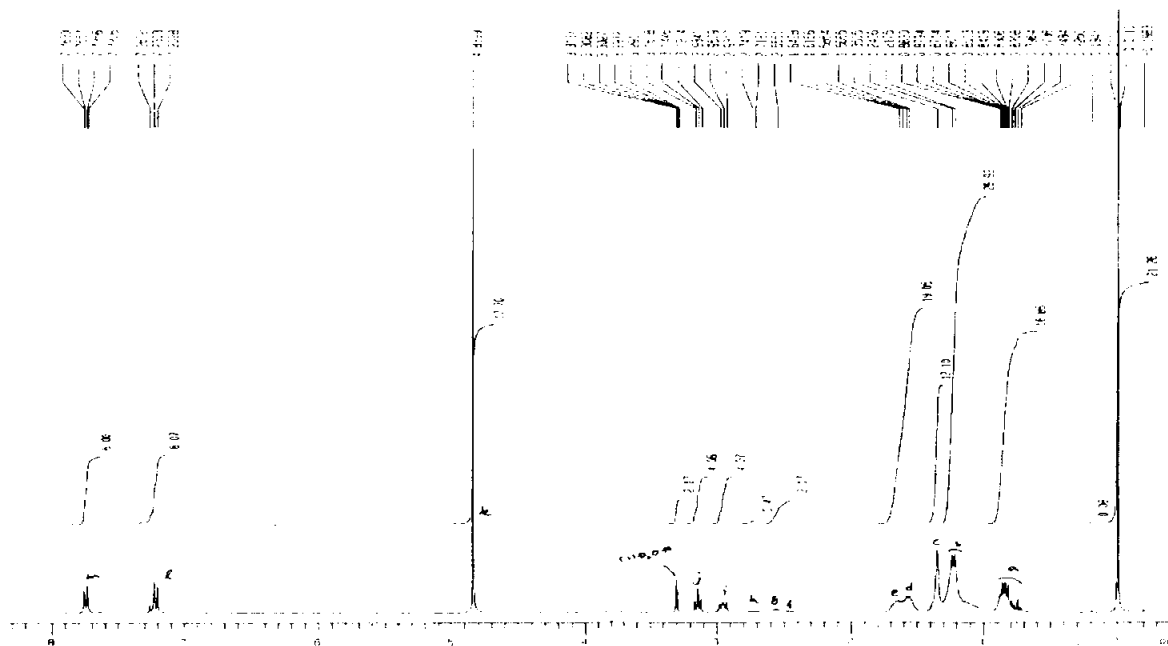
正イオンスペクトル



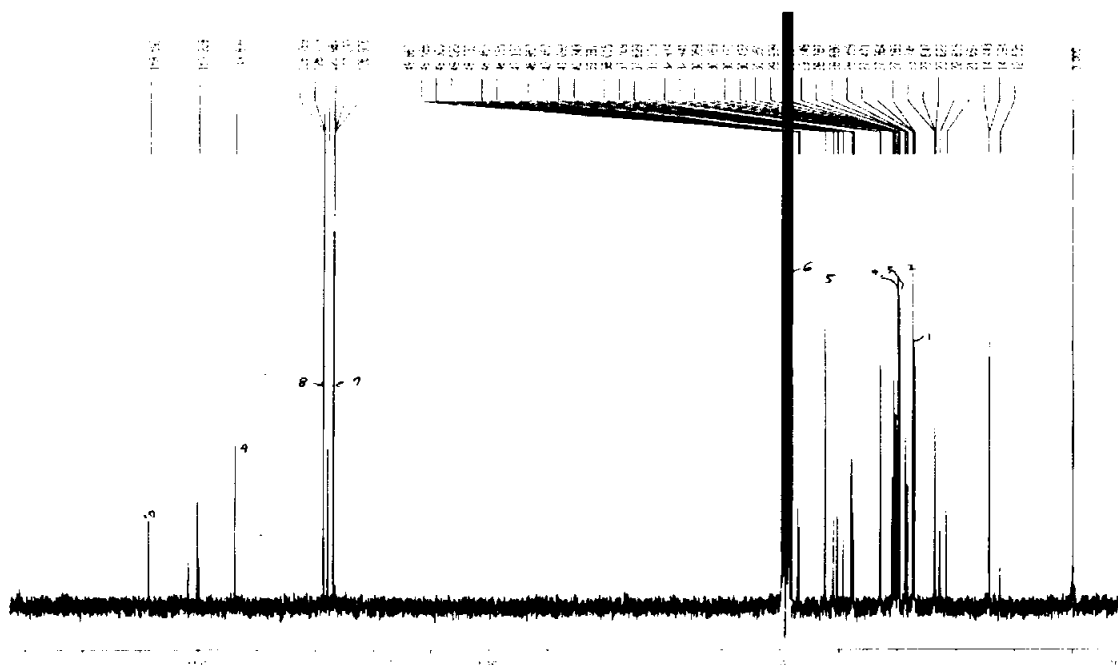
負イオンスペクトル

核磁気共鳴 (NMR) スペクトル

装置 : Lambda 300、日本電子(株)



$^1\text{H-NMR}$ (CDCl_3) スペクトル



$^{13}\text{C-NMR}$ スペクトル

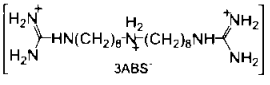
3. 原体の成分組成

3-1 原体

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量(%)	
	一般名	化学名				規格値	通常値 又はレンジ
有効成分	イミノクタジナルベシル酸塩	1,1'-イミノジ(オクタメチレン)-ジグアニジニウム=トリス(アルキルベンゼンスルホナート)	$\left[\begin{array}{c} \text{H}_2\text{N}^+ \\ \\ \text{HN}(\text{CH}_2)_8\text{N}^+(\text{CH}_2)_8\text{NH} \\ \\ \text{H}_2\text{N}^+ \end{array} \right] \left[\begin{array}{c} \text{H}_2 \\ \\ (\text{CH}_2)_8\text{NH} \\ \\ \text{NH}_2 \end{array} \right] \left[\begin{array}{c} \text{NH}_2 \\ \\ \text{NH}_2 \end{array} \right]$	$\text{C}_{72}\text{H}_{131}\text{N}_7\text{O}_9\text{S}_3$	1335.1		
原体混在物	混在物①						
	混在物②						
	混在物③						
	混在物④						
	混在物⑤						
	混在物⑥						

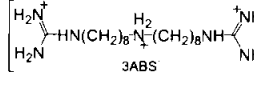
原 体 混 在 物	混在物 ⑦						
	混在物 ⑧						
	混在物 ⑨						
	混在物 ⑩						
	混在物 ⑪						
	混在物 ⑫						
	混在物 ⑬						
	混在物 ⑭						

3-2 原末

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量(%)	
	一般名	化学名				規格値	通常値 又はレンジ
有効成分	イミノクタ ジナルベ シル酸塩	1,1'-イミノジ(オクタメチ レン)-ジグアニジニウム=トリ ス(アルキルベンゼンスルホ ナート)		$C_{72}H_{131}N_7O_9S$ 3	1335.1		
原体混在物	混在物 ①						
	混在物 ②						
	混在物 ③						
	混在物 ④						
	混在物 ⑤						
	混在物 ⑥						

原体混在物	混在物 ⑦						
	混在物 ⑧						
	混在物 ⑨						
	混在物 ⑩						
	混在物 ⑪						
	混在物 ⑫						
	混在物 ⑬						
	混在物 ⑭						
	混在物 ⑮						

3-3 原液

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量(%)	
	一般名	化学名				規格値	通常値 又はレンジ
有効成分	イミノクタ ジンアルベ シル酸塩	1,1'-イミノジ(オクタメチ レン)-ジグアニジニウム=トリ ス(アルキルベンゼンスルホ ナート)		C ₇₂ H ₁₃₁ N ₇ O ₉ S ₃	1335.1		
原体混在物	混在物 ①						
	混在物 ②						
	混在物 ③						
	混在物 ④						
	混在物 ⑤						
	混在物 ⑥						

原体混在物	混在物 ⑦						
	混在物 ⑧						
	混在物 ⑨						
	混在物 ⑩						
	混在物 ⑪						
	混在物 ⑫						
	混在物 ⑬						
	混在物 ⑭						
	混在物 ⑮						

Ⅲ. 生物活性

1. 活性の範囲

イミノクタジンアルベシル酸塩は、*in vitro* または *in vivo* において下記 病害の病原菌に対して高い抗菌活性を示す。

作物	病 害
稲	いもち病、ごま葉枯病、穂枯病、稲こうじ病、変色米
麦類	腥黒穂病、紅色雪腐病、うどんこ病、赤かび病、 条斑病、斑葉病
とうもろこし	黒穂病、すす紋病
ばれいしょ	夏疫病
かんきつ	緑かび病、青かび病、灰色かび病、黒腐病、白かび病
りんご	斑点落葉病、腐らん病、黒星病、モニリア病、褐斑病、 銀葉病、すす斑病、すす点病、輪紋病
なし	黒斑病、黒星病、輪紋病、枝枯病
おうとう	灰星病
もも	灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病
ぶどう	晩腐病、黒とう病、べと病、灰色かび病、うどんこ病、 苦腐病、白腐病
かき	落葉病、炭そ病、うどんこ病、灰色かび病
すもも	灰星病
くり	胴枯病
キウイフルーツ	果実軟腐症
らっかせい	褐斑病
いんげんまめ	炭そ病
きゅうり	べと病、灰色かび病、うどんこ病
すいか	べと病、炭そ病、うどんこ病、つる枯病、菌核病
かぼちゃ	うどんこ病
トマト	灰色かび病、輪紋病、葉かび病
キャベツ	菌核病
レタス	菌核病、灰色かび病
にんじん	黒葉枯病
たまねぎ	白斑葉枯病
アスパラガス	茎枯病、斑点病
いちご	灰色かび病、うどんこ病、炭そ病
てんさい	斑点病
茶	炭そ病、輪斑病

2. 作用機構

イミノクタジンアルベシル酸塩の生物活性はイミノクタジンに基づくものであり、その作用機構は以下のとおりである。

(1) 病原菌の脂質生合成に対する作用

病原菌の生合成に対する作用を放射性同位元素標識物質の取り込みによって検討した。イミノクタジンは、ナシ黒斑病菌の脂質成分における D-[U-¹⁴C]グルコース、[1-¹⁴C]酢酸および L-[メチル-¹⁴C]メチオニンの取り込みを顕著に抑制した。生成量が減少した脂質成分は、単純脂質および複合脂質であった。細胞膜の構成脂質エルゴステロール生成量も減少していた。エルゴステロール生合成阻害剤(E BI) を処理した病原菌に蓄積する24-メチレンジヒドロラノステロールやフェコステロールは、イミノクタジン処理した病原菌には蓄積しなかった。

(2) 病原菌の細胞膜機能に対する作用

細胞膜機能のうち、細胞内成分の維持に対する作用を細胞中に存在する K⁺ の細胞外漏出を測定することによって検討した。病原菌孢子および菌糸にイミノクタジン処理すると、細胞中より多量の K⁺ が速やかに漏出した。物質交換に対する作用を L-[U-¹⁴C]ロイシンの細胞内取り込みによって検討した。イミノクタジンは、蛋白質生合成阻害剤シクロヘキシミド存在下において、モモ灰星病菌によるロイシン取り込みを顕著に抑制した。

以上の結果より、イミノクタジンは、E BI とは異なる脂質生合成系および細胞膜機能に作用すると考える。

3. 作用特性と防除上の利点等

(1) 作用特性

①病原菌の器官形成に対する効果

コムギ紅色雪腐病菌およびモモ灰星病菌の孢子発芽、ナシ黒斑病菌の発芽管伸長、付着器形成、侵入糸形成を強力に阻止した。

②予防および治療効果

なし、もも、りんご葉に薬剤散布後、それぞれナシ黒斑病菌、モモ灰星病菌、リンゴ斑点落葉病菌を接種した。いずれの場合においても高い病斑形成阻止効果を示した。

りんご葉に斑点落葉病菌を接種後、薬剤を散布した。接種16時間後までは薬剤の効果を認めたが、24時間後においては効果は著しく低かった。

③浸透移行性

りんご葉表面に薬剤散布後、裏面に斑点落葉病菌を接種したが、薬剤の効果は低かった。りんご葉基部に薬剤散布後、先端部に斑点落葉病菌を接種したが、薬剤の効果は低かった。

④他剤耐性菌に対する効果

イプロジオン耐性灰色かび病菌、ベノミル耐性コムギ赤かび病菌、ミカン青かび病菌、モモ灰星病菌およびフェナリモル耐性ミカン青かび病菌に対して、感受性菌と同等の高い効果を示した。

以上のように、イミノクタジンアルベシル酸塩は、病原菌の器官形成を阻害する接触型の予防薬剤であり、他剤耐性菌に対して感受性菌と同等の効果を示す。

(2) 防除上の利点等

①ベンゾイミダゾール系殺菌剤、ジカルボキシイミド系殺菌剤およびエルゴステロール生合成阻害剤などと作用機構が異なる。したがって、これらの薬剤に対する耐性菌の防除に利用できる。また、これらの薬剤と輪番で使用することにより、耐性菌の増加を防ぐことができる。

②多数の病害に対して高い防除効果を示すので、総合防除剤として利用できる。

IV. 適用及び使用上の注意

1. 適用病害虫の範囲及び使用方法

1) イミノクタジンアルベシル酸塩 40%水和剤(ベルコート水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
りんご	黒星病	2000 倍	200～ 700L/10a	収穫前日 まで	6 回以内 (但し、 開花期以降 散布は 3 回以内)	散布	8 回以内 (液剤及び 水和剤は 合計 6 回以内 (開花期以降は 3 回以内)、 塗布剤は 2 回以内)
	斑点落葉病	1000～ 2000 倍					
	輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病 黒点病	1000 倍					
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病	1000～ 1500 倍		収穫 14 日 前まで	5 回以内		5 回以内 (塗布剤は 2 回以内、 液剤は 1 回以内)
	もも	黒星病		2000 倍	収穫前日 まで		3 回以内
灰星病 柿ブシ腐敗病 うどんこ病 すすかび病 果実赤点病		1000～ 2000 倍					
おうとう		灰星病		1000 倍			
みかん	灰色かび病	1000～ 2000 倍		収穫前日 まで	2 回以内		3 回以内
	そうか病	1000 倍					
かんきつ (みかんを除く)	灰色かび病	2000 倍					2 回以内
かき	炭疽病 落葉病 うどんこ病 灰色かび病 すす点病 黒星病	1000～ 1500 倍	収穫 14 日 前まで	3 回以内	3 回以内		

1) 2008 年 9 月 18 日申請(基準値設定を伴う)

2) 2018 年 2 月 22 日申請(基準値設定を伴わない)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

1) イミノクタジンアルベシル酸塩 40%水和剤(バルコート水和剤)(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数			
キウフルーツ	果実軟腐病 灰色かび病 貯蔵病害 (灰色かび病)	1000 倍	200～ 700L/10a	収穫前日 まで	5 回以内	散布	5 回以内			
小粒核果類 (うめ、すももを 除く)	黒星病 灰星病 灰色かび病	2000 倍		3 回以内	収穫 30 日 前まで		3 回以内	3 回以内		
うめ	環紋葉枯病 すす斑病 枝枯病									
びわ	灰斑病 灰色かび病								1000 倍	
すもも	灰星病	1000～ 2000 倍		収穫 7 日 前まで	3 回以内		2 回以内			
マンゴー <申請中> ¹⁾	炭疽病	1000 倍		収穫 14 日 前まで	2 回以内					
あけび(果実)	うどんこ病	3000 倍								
すいか <申請中> ²⁾	うどんこ病 つる枯病 菌核病 炭疽病	1000 倍	4 回以内	収穫前日 まで	4 回以内				4 回以内	
メロン <申請中> ²⁾	うどんこ病 つる枯病									5 回以内
かぼちゃ <申請中> ²⁾	うどんこ病									1000～ 2000 倍
ズッキーニ <申請中> ²⁾		2000 倍								
きゅうり <申請中> ²⁾	褐斑病 うどんこ病 灰色かび病 炭疽病	2000～ 4000 倍	7 回以内	収穫前日 まで	7 回以内	7 回以内				
うり類(漬物用) <申請中> ²⁾	うどんこ病 つる枯病 炭疽病							5 回以内		
なす <申請中> ²⁾	すすかび病 灰色かび病 うどんこ病	3000 倍	3 回以内	3 回以内	3 回以内					
アスパラガス <申請中> ²⁾	茎枯病 斑点病 褐斑病	1000 倍	100～ 500L/10a	収穫 7 日 前まで			5 回以内	5 回以内		

1) 2008 年 9 月 18 日申請(基準値設定を伴う)

2) 2018 年 2 月 22 日申請(基準値設定を伴わない)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

1) イミノクタジンアルベシル酸塩 40%水和剤(ベルコート水和剤)(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数	
たまねぎ <申請中> ²⁾	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病	1000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	5 回以内	散布	5 回以内	
ねぎ	葉枯病 さび病 黒斑病	2000 倍		収穫 30 日 前まで	3 回以内		3 回以内	
にんにく <申請中> ²⁾	葉枯病	1000～ 1500 倍		収穫 3 日 前まで				
にんじん <申請中> ²⁾	菌核病	1000 倍		5 回以内	5 回以内		5 回以内 (種子粉衣は 1 回以内、 無人ヘリ散布は 2 回以内)	
にんじん	黒葉枯病	500～ 1000 倍						
トマト <申請中> ²⁾	葉かび病	3000～ 6000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内	
ミニトマト <申請中> ²⁾	灰色かび病	6000 倍			2 回以内		2 回以内	
レタス <申請中> ¹⁾²⁾	灰色かび病 菌核病	1000～ 2000 倍		1000 倍	収穫 14 日 前まで		3 回以内	3 回以内
キャベツ <申請中> ¹⁾²⁾	菌核病							
いちご <申請中> ²⁾	炭疽病 うどんこ病	4000 倍	200～ 300L/10a	育苗期 (定植前)	5 回以内	散布	10 回以内 (育苗期は 5 回以内、 本圃では 5 回以内)	
	うどんこ病		100～ 300L/10a	収穫前日 まで (生育期)				
豆類 (種実、ただし、 だいずを除く) <申請中> ²⁾	うどんこ病 炭疽病 褐斑病	1000 倍	乾燥種子重 量の 0.5%	は種前	3 回以内	種子 粉衣	3 回以内	
だいず <申請中> ²⁾	紫斑病	-			1 回		4 回以内	4 回以内 (種子粉衣は 1 回以内)
ばれいしょ <申請中> ²⁾	夏疫病	500 倍	100～ 300L/10a	収穫 7 日 前まで	5 回以内	散布	5 回以内	

1) 2008 年 9 月 18 日申請(基準値設定を伴う)

2) 2018 年 2 月 22 日申請(基準値設定を伴わない)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

1) イミノクタジンアルベシル酸塩 40%水和剤(バルコート水和剤)(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
やまのいも <申請中> ²⁾	葉渋病	1000～ 2000 倍	100～ 300L/10a	収穫 7 日 前まで	5 回以内	散布	5 回以内 (種いもへの 処理は 1 回以内、 無人ヘリ散布は 3 回以内)
やまのいも	青かび病	-	種いも 重量の 1%	植付前	1 回	種いも 粉衣	1 回以内、 無人ヘリ散布は 3 回以内)
てんさい <申請中> ²⁾	斑点病 褐斑病	1000 倍	100～ 300L/10a	収穫 14 日 前まで	4 回以内	散布	4 回以内
小麦	赤かび病	1000～ 2000 倍	60～ 180L/10a	収穫 21 日 前まで	3 回以内 (出穂期 以降は 1 回以内)		4 回以内 (種子への 処理は 1 回以内、 散布及び 無人ヘリ散布は 合計 3 回以内、 出穂期以降は 1 回以内)
茶 <申請中> ¹⁾	炭疽病 輪斑病 新梢枯死症 (輪斑病菌による)	1000 倍	200～ 400L/10a	摘採 7 日 前まで	2 回以内		2 回以内
たばこ	赤星病 うどんこ病 灰色かび病	1000～ 2000 倍	100～ 180L/10a	収穫 10 日 前まで			
樹木類	炭疽病	1000 倍	200～ 700L/10a	発病初期	3 回以内		3 回以内

1) 2008 年 9 月 18 日申請(基準値設定を伴う)

2) 2018 年 2 月 22 日申請(基準値設定を伴わない)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

2) イミノクタジンアルベシル酸塩 30%水和剤(バルコートフロアブル水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数	
りんご	斑点落葉病 黒星病 輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病	1000～ 1500 倍	200～ 700L/10a	収穫前日 まで	6 回以内 (但し、 開花期以降 散布は 3 回以内)	散布	8 回以内 (液剤及び 水和剤は 合計 6 回以内 (開花期以降は 3 回以内)、 塗布剤は 2 回以内)	
	黒点病	1000 倍						
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病	1500 倍		収穫 14 日 前まで	5 回以内		5 回以内 (塗布剤は 2 回以内、 液剤は 1 回以内)	
すもも	灰星病	2000 倍		収穫 3 日 前まで	3 回以内		3 回以内	3 回以内
うめ	黒星病 灰色かび病 すす斑病			収穫 30 日 前まで				
小粒核果類 (うめ、すももを 除く)	灰星病							
おうとう				収穫 7 日 前まで				
もも	灰星病 ホヱブシ腐敗病	1000～ 2000 倍		収穫前日 まで	2 回以内		2 回以内	3 回以内 (休眠期は 1 回以内)
初刈り	黒星病	1500～ 2000 倍						
みかん	そうか病 貯蔵病害(軸腐病)	1000 倍		4L/10a 8L/10a 5L/10a 10L/10a	収穫前日 まで		3 回以内	無人 ヘリコプターに よる散布
	灰色かび病 貯蔵病害(青かび病) 貯蔵病害(緑かび病) 貯蔵病害(黒腐病)	1000～ 2000 倍						
	灰色かび病	10 倍	収穫 3 日前 まで					
		20 倍						
	貯蔵病害(青かび病)	10 倍						
	貯蔵病害(緑かび病)	20 倍						

1) 2008 年 9 月 18 日申請(基準値設定を伴う)

2) 2018 年 2 月 28 日申請(基準値設定を伴わない)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

2) イミノクタジンアルベシル酸塩 30%水和剤(バルコートフロアブル)(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
かんきつ (みかんを除く)	そうか病 貯蔵病害(軸腐病) 幹腐病	1000 倍	200～ 700L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内
	灰色かび病 貯蔵病害(青かび病) 貯蔵病害(緑かび病) 貯蔵病害(黒腐病)	1000～ 2000 倍					
くり	実炭疽病	1000 倍	100～ 300L/10a	収穫 14 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内
キャベツ	菌核病			収穫 28 日 前まで			
にんじん	黒葉枯病 うどんこ病 斑点病 菌核病	8 倍	2L/10a	収穫 14 日 前まで	5 回以内	無人 ヘリコプターに よる散布	5 回以内 (種子粉衣は 1 回以内、 無人ヘリ散布は 2 回以内)
	斑点病				2 回以内		
らっきょう	灰色かび病	1000 倍	100～ 300L/10a	収穫 7 日 前まで	5 回以内	散布	5 回以内
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病			収穫前日 まで			
すいか	炭疽病 うどんこ病	1000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	4 回以内	散布	4 回以内
メロン	菌核病 つる枯病				5 回以内		
かぼちゃ	うどんこ病	2000 倍	150～ 300L/10a	収穫 7 日 前まで	4 回以内	散布	4 回以内
きゅうり	灰色かび病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 菌核病 黒星病			7 回以内			
にがうり <申請中> ¹⁾	うどんこ病	4000 倍	150～ 300L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
なす	灰色かび病 うどんこ病 すすかび病 黒枯病	2000 倍	100～ 300L/10a	3 回以内			

1) 2008 年 9 月 18 日申請(基準値設定を伴う)

2) 2018 年 2 月 28 日申請(基準値設定を伴わない)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

2) イミノクタジンアルベシル酸塩 30%水和剤(バルクトフロアブル)(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
トマト	灰色かび病 葉かび病	2000～ 4000倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
ミニトマト	うどんこ病 すすかび病	4000倍			2回以内		2回以内
	斑点病			2回以内	2回以内		
いちご	炭疽病 うどんこ病 輪斑病	1000倍		育苗期 (定植前)	5回以内		10回以内 (育苗期は 5回以内、 本圃では 5回以内)
	うどんこ病	2000～ 4000倍	収穫前日 まで (生育期)				
	灰色かび病 炭疽病 黒斑病	2000倍					
アスパラガス <申請中> ¹⁾	褐斑病 斑点病	1000倍	1.6L/10a	収穫7日 前まで	無人 ヘリコプターに よる散布	5回以内	
	斑点病	8倍					
やまのいも <申請中> ²⁾	炭疽病 葉渋病	1000倍	100～ 300L/10a	3回以内	無人 ヘリコプターに よる散布	5回以内 (種いもへの 処理は 1回以内、 無人ヘリ散布は 3回以内)	
	葉渋病	12倍	3L/10a				
やまのいも (むかご) ²⁾	青かび病	200倍	-	植付前	1回	1～10分間 種いも浸漬	1回
だいず	腐敗粒 紫斑病 子実汚斑病	1000倍	100～ 300L/10a	収穫7日 前まで	4回以内	散布 無人 ヘリコプターに よる散布	4回以内 (種子粉衣は 1回以内)
	紫斑病	6倍	0.8L/10a				
		12倍	1.6L/10a				
茶 <申請中> ¹⁾	炭疽病 新梢枯死症 輪斑病	1500～ 2000倍	200～ 400L/10a	摘採7日 前まで	2回以内	散布	2回以内

1) 2008年9月18日申請(基準値設定を伴う)

2) 2018年2月28日申請(基準値設定を伴わない)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

2) イミノクタジンアルベシル酸塩 30%水和剤(バルコートフロアブル)(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
アリス	青かび病	100倍	-	植付前	1回	10分間 球根浸漬	8回以内
		200倍				30分間 球根浸漬	
チュリップ*	褐色斑点病	1000倍	100～ 300L/10a	発生初期	8回以内	散布	

3) イミノクタジンアルベシル酸塩 2%粉剤(協友スミチオンバルコート粉剤 DL)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを 含む農薬の 総使用回数	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
だいず	マシクイ [†] カラムシ類 紫斑病	3kg/10a	開花期～ 若莢期 但し収穫 21日 前まで	4回以内	散布	4回以内	4回以内 (種子粉衣は 1回以内)

4) イミノクタジンアルベシル酸塩 10.0%水和剤(サーガ水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数	マンゼブを 含む農薬の 総使用回数
かんきつ (みかんを 除く)	そうか病 黒点病 灰色かび病	500～ 600倍	200～ 700L/10a	収穫90日 前まで	2回以内	散布	2回以内	4回以内
みかん							3回以内	
りんご	黒星病 斑点落葉病	500倍		収穫30日 前まで	3回以内		8回以内 (液剤及び 水和剤は 合計6回以内 (開花期以降は 3回以内)、 塗布剤は 2回以内)	3回以内
ばれいしょ	疫病 夏疫病			収穫7日 前まで	5回以内		5回以内	10回以内 (無人へ散布 は3回以内)
きゅうり	うどんこ病 べと病 灰色かび病	500～ 1000倍	150～ 300L/10a	収穫前日 まで			7回以内	
ねぎ	黒斑病 さび病 べと病 小菌核腐敗病	500倍			収穫30日 前まで		3回以内	3回以内

2. 使用上の注意事項

- 1) イミノクタジンアルベシル酸塩 40%水和剤(ベルコート水和剤)
 - (1) 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。
 - (2) 水溶性フィルム包装の場合、内袋はぬれた手で触れないこと。内袋はそのまま所定量の水に投入すること。外袋の開封後は使い切ることが望ましい。やむを得ず保管する場合には、できるだけ速やかに使い切ること。
 - (3) りんごに使用する場合、芽出し2週間過ぎから落花後25日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけること。
 - (4) なしに使用する場合、西洋なし品種ル レクチエではさび果を生じるので使用しないこと。
 - (5) ももに使用する場合、缶桃14号等の缶詰用品種では葉に葉斑を生じるので使用しないこと。
 - (6) 本剤をおうとうに使用する場合、着色始期から中期の散布では葉害(着色障害)が生じるおそれがあるので使用しないこと。
 - (7) かきに使用する場合、西村早生では葉に葉斑を生じるので使用しないこと。
 - (8) メロンに使用する場合、交配2~3日前から交配2週間後までの幼果の時期には、葉害を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけること。また、若葉への散布や高温時の散布では、葉害を生じることがあるので注意すること。
 - (9) キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると葉害を生じる場合があるので、展着剤混用にあたっては事前にその適否を確認すること。
 - (10) ばらに対して葉害を生じるので、かからないように注意して散布すること。
 - (11) 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意して散布すること。
 - (12) 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
 - (13) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - (14) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
 - (15) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

- 2) イミノクタジンアルベシル酸塩 30%水和剤(ベルコートフロアブル水和剤)
- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
 - (2) 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲で使用すること。
 - (3) 5℃以下では増粘あるいは固化により、容器から取り出しにくくなることがあるので、50℃以上の湯に容器の肩まで浸し、1時間以上経過した後、室温まで放置し、よく振ってから使用すること。
 - (4) 本剤をおうとうに使用する場合、着色期の散布では薬害(着色障害)が生じるおそれがあるので使用しないこと。
 - (5) りんごの落花直後から落花後 25 日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、かからないように注意すること。
 - (6) 西洋なしの品種ル レクチエではさび果を生じるので使用しないこと。
 - (7) 缶桃 14 号等の缶詰用品種のももでは葉に薬斑を生じるので、かからないように注意すること。
 - (8) かきの品種西村早生では葉に薬斑を生じるおそれがあるので、かからないように注意すること。
 - (9) 幼果期のメロン、ばらに対して薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意すること。
 - (10) キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤混用にあたっては事前にその適否を確認すること。
 - (11) やまのいも(むかご)に使用する場合、種いも(やまのいも)を浸漬処理すること。
 - (12) 本剤をチューリップに使用する場合、花卉に薬害が生じるおそれがあるので、出蕾期以前に使用すること。
 - (13) 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意すること。
 - (14) 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
 - (15) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - (16) 無人ヘリコプターによる散布を行う場合には、次の注意事項を遵守すること。
 - ① 散布機種 of 散布基準に従って行うこと。
 - ② 散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ③ 散布中に薬液の漏洩がないよう、事前に機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ④ 散布薬剤の飛散によって他の動植物等に影響を与えないよう、散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - (17) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

- 3) イミノクタジンアルベシル酸塩 2%粉剤(協友スミチオンペルコート粉剤 DL)
- (1) 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ見かけ 比重がやや大きく流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を一目盛程度しぼって散布すること。
 - (2) あぶらな科作物、ばらには薬害が生ずる恐れがあるので付近にある場合には、かからないように注意して散布すること。
 - (3) 蚕に対し毒性があるので桑葉にかからないようにすること。
 - (4) 本剤は、自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に薬剤がかかると変色するおそれがあるので、薬剤がかからないよう注意すること。
- 4) イミノクタジンアルベシル酸塩 10.0%水和剤(サーガ水和剤)
- (1) 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきること。
 - (2) 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。
 - (3) 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけること。
 - (4) ボルドー液との7日以内の近接散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけること。
 - (5) 幼果期のメロン、ばらに対して薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意すること。
 - (6) りんごに使用する場合、芽出し 2 週間すぎから落花後 25 日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけること。
 - (7) 極端な高温多湿条件下では軟弱幼苗に薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
 - (8) 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意すること。
 - (9) 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
 - (10) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - (11) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。
なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

3. 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- 1) イミノクタジンアルベシル酸塩 40%水和剤(ベルコート水和剤)
 - (1) 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
 - (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 2) イミノクタジンアルベシル酸塩 30%水和剤(ベルコートフロアブル水和剤)
 - (1) 水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
 - (2) 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
 - (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 3) イミノクタジンアルベシル酸塩 2%粉剤(協友スミチオンベルコート粉剤 DL)
 - (1) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
 - (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 4) イミノクタジンアルベシル酸塩 10.0%水和剤(サーガ水和剤)
 - (1) 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
 - (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

V. 残留性及び水質汚濁性

1. 作物残留性試験

(1) 分析法

① GC 法

グアニジン塩酸塩を加え磨砕均質化した試料に
を加え抽出する。液液分配による精製後、
で した後、 で
し、シリカゲルクロマトグラフィーで精製後、ガスクロマトグラフ
(GC-FTD、GC-NPD 又は GC-ECD)を用いて定量する。

② HPLC 法、LC/MS 法

及び もしくは加え磨砕均質化した試
料に 混合液又は 混合液
を加え抽出、液液分配及びイオン交換カラムにより精製後、高速液体クロマ
トグラフ(ポストカラム蛍光ラベル化システム)又は液体クロマトグラフ・質量
分析計(LC-MS)を用いて定量する。

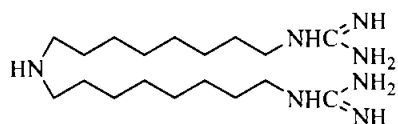
(2) 分析対象の化合物

一般名：イミノクタジン

化学名：1,1'-イミノジ(オクタメチレン)ジグアニジン

分子式：C₁₈H₄₁N₇

分子量：355.6



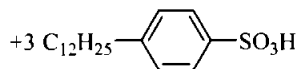
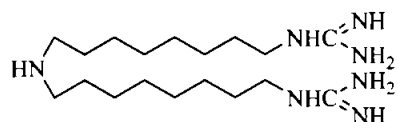
一般名：イミノクタジンアルベシル酸塩

化学名：1,1'-イミノジ(オクタメチレン)ジグアニジニウム=トリス(アルキルベンゼンスルホネート)

分子式：C₇₂H₁₃₁N₇O₉S₃

分子量：1335.1

構造式：



換算係数：0.266

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

(参考)

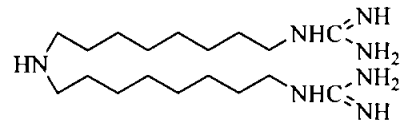
一般名：イミノクタジン酢酸塩

化学名：1,1'-イミノジ(オクタチレン)ジグアニジウム=トリアセート

分子式： $C_{24}H_{53}N_7O_6$

分子量：535.7

構造式：



+3 CH₃COOH

換算係数：0.664

(3) 残留試験結果

次ページ以下に記載

〔一覧表目次〕

作物名	
小麦	残留-4
だいず	残留-4~5
いんげんまめ	残留-5
らっかせい	残留-6
ばれいしょ	残留-6
やまのいも	残留-6~7
てんさい	残留-7
キャベツ	残留-7
レタス	残留-7
たまねぎ	残留-7~8
ねぎ(根深ねぎ、葉ねぎ)	残留-8
にんにく	残留-8
アスパラガス	残留-9
にんじん	残留-9~10
トマト、ミニトマト	残留-10~11
なす	残留-11~12
きゅうり	残留-12~14
かぼちゃ	残留-14~15
しろうり	残留-15
すいか	残留-15
メロン	残留-16
とうがん	残留-16
にがうり	残留-16
温州みかん	残留-16~20
なつみかん	残留-20~21
小粒柑橘	残留-21~22
りんご	残留-22~25
なし	残留-25~26
びわ	残留-26~27
もも	残留-27
ネクタリン	残留-28
すもも	残留-29
うめ	残留-29~30
おうとう	残留-30~31
いちご	残留-31~32
かき	残留-32
キウイフルーツ	残留-33
マンゴー	残留-33
あけび	残留-33
くり	残留-33
茶	残留-34

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 1 公) ¹⁾	大日本イキ (No. 1 社) ¹⁾		
小麦 (露地) (種子) H 2,3 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 3 回散布(出穂前) 100L/10a(茨城)、 150L/10a(北海道) 2000 倍 150L/10a 2 回 散布(出穂後) 合計 5 回	北植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	30	0.005	0.005	0.008	0.008
			5	40	0.003	0.003	0.003	0.003
		日植防 茨城	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	30	0.005	0.005	0.005	0.005
			5	38	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
					(財)日本食品分析 センター(No. 34 公) ¹⁾	大日本イキ (No. 34 社) ¹⁾		
小麦 (露地) (種子) H4,5 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 150L/10a 4 回 散布(出穂前) 2 回 散布(出穂後) 合計 6 回	日植防 茨城	0	-	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003
			6	21	0.006	0.005	0.011	0.011
			6	30	0.002	0.002	0.003	0.003
		福井植防	0	-	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003
			6	21	0.003	0.003	0.005	0.005
			6	30	<0.002	<0.002	0.003	0.003
					(財)残留農薬研究所 (No. 39 公) ¹⁾	大日本イキ (No. 39 社) ¹⁾		
だいず (露地) (乾燥子実) H6 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 200L/10a 4 回 散布	北植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			4	7	0.003	0.003	0.006	0.006
			4	14	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
		福島植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			4	7	<0.003	<0.003	0.006	0.006
			4	14	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
					(財)残留農薬研究所 (*No. FL9-1 公)	(株)エスコ (*No. FL9-1 社)		
だいず (露地) (乾燥子実) H12 HPLC 法	フロアブル(30%) 6 倍 4 回無人へ散布 0.8-0.9L/10a(群馬) 0.8L/10a(宮崎、新潟、石川)	群馬植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	28	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		宮崎 総農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	7	<0.003	<0.003	0.003	0.003
			4	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	28	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		新潟 上越病害 虫防除所	0	-			<0.003	<0.003
			4	7			<0.003	<0.003
			4	13			<0.003	<0.003
			4	28			<0.003	<0.003
		石川 農総センター	0	-			<0.003	<0.003
			4	7			0.003	0.003
			4	14			<0.003	<0.003
			4	28			<0.003	<0.003

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. FL9-3 公)	大日本イネ (*No. FL9-3 社)		
だいず (露地) (乾燥子実) H11 HPLC 法	フロアブル(30%) 1000倍 200L/10a 4回散布	北植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			4	7	0.012	0.012	0.015	0.015
			4	14	0.012	0.012	0.013	0.013
			4	27	0.011	0.010	0.010	0.010
		岐阜植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			4	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			4	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			4	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
					-	大日本イネ (*No. FL9-3 社)		
だいず (露地) (乾燥子実) H12 HPLC 法	フロアブル(30%) 1000倍 200L/10a 4回 散布	北植防	0	-			<0.003	<0.003
			4	7			<0.003	<0.003
			4	14			<0.003	<0.003
			4	27			<0.003	<0.003
		群馬植防	0	-			<0.003	<0.003
			4	7			<0.003	<0.003
			4	14			<0.003	<0.003
			4	28			<0.003	<0.003
		新潟植防	0	-			<0.003	<0.003
			4	7			<0.003	<0.003
			4	14			<0.003	<0.003
			4	28			<0.003	<0.003
三重植防	0	-			<0.003	<0.003		
	4	7			<0.003	<0.003		
	4	14			<0.003	<0.003		
	4	28			<0.003	<0.003		
					(財)日本食品分析センター (*No. 16 公) ²⁾	大日本イネ (*No. 16 社) ¹⁾		
いんげんまめ (露地) (乾燥子実) H1 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 500倍 3回散布 200L/10a(青森) 350L/10a(福井)	青森農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.004	<0.004
			3	7	<0.003	<0.003	<0.004	<0.004
			3	14	<0.003	<0.003	<0.004	<0.004
			3	28	<0.003	<0.003	<0.004	<0.004
		福井農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.004	<0.004
			3	7	<0.003	<0.003	0.009	0.008
			3	14	<0.003	<0.003	<0.004	<0.004
			3	28	<0.003	<0.003	<0.004	<0.004

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本植防協会研究所 (*No. FL38 公)	(株)化学分析コンサルタント (*No. FL38 社)		
らっかせい (露地) (子実) H16 LC/MS 法	フロアブル(30%) 750倍 200L/10a 4回散布	日植防 茨城	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		鹿児島 農試 大隈	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					(財)日本食品分析センター (*No. 17 公) ²⁾	大日本イキ (*No. 17 社) ¹⁾		
ばれいしょ (露地) (塊茎) H1 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 500倍 200L/10a 5回散布	日植防 茨城	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	28	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		日植防 宮崎	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	28	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
					(財)日本食品分析センター (*No. 29 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 29 社) ¹⁾		
やまのいも (露地) (塊根) H7 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000倍 5回散布 200L/10a(群馬) 250L/10a(青森)	青森 畑作園試	0	-	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003
			5	7	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003
			5	14	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003
		群馬植防	0	-	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003
			5	7	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003
			5	14	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003
					(財)日本食品分析センター (*No. FL9-2 公)	大日本イキ (*No. FL9-2 社) ¹⁾		
やまのいも (露地) (塊根) H9 HPLC 法	フロアブル(30%) 1000倍 250L/10a 5回散布	埼玉植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003
			5	7	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003
			5	14	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003
		長野植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003
			5	7	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003
			5	14	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003
					(財)日本食品分析センター (*No. FL19 公)	大日本イキ (*No. FL19 社)		
やまのいも (露地) (塊根) H11, 12 HPLC 法	フロアブル(30%) 1000倍 250L/10a 2回 散布 12倍 3L/10a 3回 無人ヘリ散布 合計5回	青森 畑作園試	0	-	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003
			5	8	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003
			5	15	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003
		鳥取園試	0	-	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003
			5	7	<0.005	<0.005	0.003	0.003
			5	14	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
						(株)化学分析コンサルタント (*No. FL25 社)		
やまのいも (露地)(塊根) H15 HPLC 法	7077 ¹⁾ (30%) 200 倍 10 分間種いも浸漬	青森農林 総研センター	0	-	/	/	<0.005	<0.005
			1	131			<0.005	<0.005
		鳥取園試	0	-	/	/	<0.005	<0.005
			1	159			<0.005	<0.005
					(財)日本食品分析センター (*No. FL18 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. FL18 社) ¹⁾		
てんさい (露地) (根部) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 100L/10a 4 回散布	北海道 農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	7	0.051	0.051	0.056	0.053
			4	14	0.048	0.048	0.032	0.029
		北植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
					(財)日本食品分析センター (*No. FL22 公)	(株)化学分析コンサルタント (*No. FL22 社)		
キャベツ (露地) (葉球) H14 HPLC 法	7077 ¹⁾ (30%) 750 倍 250L/10a 3 回散布	愛知 農総試 園研	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	14	0.021	0.020	0.024	0.024
			3	21	0.081	0.077	0.084	0.082
			3	28	<0.005	<0.005	0.008	0.008
		日植防 宮崎	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	14	0.044	0.044	0.038	0.036
			3	21	0.006	0.006	0.008	0.008
			3	28	<0.005	<0.005	0.007	0.007
					(財)日本食品分析センター (*No. 22 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 22 社) ¹⁾		
レタス (施設) (葉部) H5 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 150L/10a 3 回散布	長野 営農技術 センター	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	7	0.149	0.149	0.559	0.545
			3	14	0.101	0.096	0.043	0.040
			3	28	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		日植防 高知	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	7	0.144	0.144	0.519	0.513
			3	14	0.154	0.146	0.170	0.165
			3	28	0.005	0.005	0.008	0.005
					(財)日本食品分析センター (*No. 13 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 13 社) ¹⁾		
たまねぎ (露地) (鱗茎) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 500 倍 200L/10a 5 回散布	長野植防 松代	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	1	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		日植防 高知	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	1	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. FL11 公)	大日本イキ (*No. FL11 社)		
たまねぎ (露地) (鱗茎) H13 HPLC 法	70アブ(30%) 1000倍 500L/10a 5回散布	長野植防 松代	0	-	<0.008	<0.008	<0.005	<0.005
			5	1	0.012	0.012	<0.005	<0.005
			5	7	0.010	0.010	<0.005	<0.005
			5	14	<0.008	<0.008	<0.005	<0.005
		兵庫植防	0	-	<0.008	<0.008	<0.005	<0.005
			5	1	0.009	0.008	<0.005	<0.005
			5	7	<0.008	<0.008	<0.005	<0.005
			5	14	<0.008	<0.008	<0.005	<0.005
					(財)日本食品分析センター (*No. 45 公)	大日本イキ (*No. 45 社)		
根深ねぎ (露地) (茎葉) H9 HPLC 法	水和剤(40%) 2000倍 200L/10a 3回散布	茨城 農総センター 園試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	0.01	0.01
			3	21	<0.01	<0.01	0.01	0.01
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		埼玉植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.03	0.03	0.01	0.01
			3	21	0.01	0.01	0.01	0.01
			3	30	0.01	0.01	<0.01	<0.01
					(財)日本食品分析センター (*No. 44 公)	大日本イキ (*No. 44 社)		
葉ねぎ (露地) (茎葉) H9 HPLC 法	水和剤(40%) 2000倍 200L/10a 3回散布	徳島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		日植防 高知	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.02	0.02	0.02	0.02
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					(財)日本食品分析センター (*No. 43 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 43 社)		
にんにく (露地) (鱗茎) H8 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000倍 250L/10a 3回散布	青森農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	3	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		香川農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	3	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. 15 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 15 社) ¹⁾		
アスパラガス (露地) (若茎) H1 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 500 倍 400L/10a 5 回散布	北海道 中央農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	294	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		長野植防 松代	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	175	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
					(財)日本食品分析センター (*No. 20 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 20 社) ¹⁾		
アスパラガス (露地) (若茎) H5 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 150-200L/10a 5 回散布(北海道) 400L/10a 6 回散布 (長野)	北海道 道南農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			5	3	0.045	0.043	0.06	0.06
			5	7	0.005	0.005	<0.02	<0.02
		長野 野菜 花き試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			6	3	0.035	0.035	0.06	0.06
			6	7	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
					(財)残留農薬研究所 (*No. FL21 公)	大日本イネ (*No. FL21 社)		
アスパラガス (露地) (茎) H14 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 4 倍 1.6L/10a 5 回無人ヘリ散布	北植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
			5	3	1.12	1.10	1.20	1.20
			5	7	0.36	0.36	0.30	0.30
			5	14	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
		長野 病害虫 防除所	0	-	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
			5	3	0.11	0.11	0.12	0.11
			5	7	<0.02	<0.02	0.01	0.01
			5	14	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
					日本植防協会研究所 (*No. FL26 公)	(株)化学分析コンサルタント (*No. FL26 社)		
アスパラガス (施設) (若茎) H14 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 750 倍 400L/10a 5 回散布	長野植防 南信	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	1	0.58	0.58	0.61	0.59
			5	7	0.08	0.08	0.04	0.04
			5	14	0.01	0.01	0.01	0.01
		香川農試 三木	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	1	0.62	0.61	0.63	0.63
			5	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					日本食品分析センター (*No. 14 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 14 社) ¹⁾		
にんじん (露地) (根部) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 500 倍 200L/10a 5 回散布	長野植防 須坂	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	0.035	0.032	0.027	0.027
			5	14	0.008	0.005	0.011	0.011
		新潟 高冷地 農技センター	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No. FL7 公)	大日本イネ (*No. FL7 社)		
トマト (施設) (果実) H8 ガスクロ法 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 2000 倍 250L/10a 3 回散布	日植防 茨城	0	-	<0.01	<0.01	<0.001	<0.001
			3	1	0.04	0.04	0.048	0.048
			3	3	0.02	0.02	0.032	0.030
		長野農試 南信	0	-	<0.01	<0.01	<0.001	<0.001
			3	1	0.03	0.03	0.024	0.024
			3	3	0.04	0.04	0.033	0.032
			3	7	0.03	0.03	0.027	0.026
					日本植防協会研究所 (*No. FL36 公)	(株)日曹分析センター (*No. FL36 社)		
ミニトマト (施設) (果実) H17 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 4000 倍 300L/10a(岩手) 250L/10a(長野) 2 回散布	岩手植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			2	1	0.03	0.03	0.03	0.03
			2	7	0.04	0.04	0.04	0.04
			2	21	0.03	0.02	0.03	0.03
		長野植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			2	1	0.03	0.03	0.02	0.02
			2	7	0.03	0.03	0.03	0.02
			2	21	0.03	0.02	0.03	0.02
					日本食品分析センター (*No. 37 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 37 社) ¹⁾		
なす (施設) (果実) H7 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 6000 倍 3 回散布 200L/10a(群馬) 350L/10a(千葉)	群馬植防	0	-	<0.003	<0.003		
			3	1	0.040	0.037		
			3	3	0.019	0.016		
		千葉農試 砂地 野菜研	0	-	<0.003	<0.003		
	3		1	0.024	0.021			
	3		3	0.019	0.019			
	群馬植防		0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		3	1	0.120	0.117	0.061	0.059	
3		3	0.051	0.048	0.035	0.032		
千葉農試 砂地 野菜研		0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
	3	1	0.064	0.064	0.048	0.043		
			3	3	0.048	0.045	0.035	0.032
					-	大日本イネ (*No. 41 社) ¹⁾		
なす (施設) (果実) H7 HPLC 法	水和剤(40%) 3000 倍 3 回散布 200-250L/10a(茨城) 300L/10a(高知)	日植防 茨城	0	-			<0.003	<0.003
			3	1			0.061	0.059
			3	3			0.059	0.053
		日植防 高知	0	-			<0.003	<0.003
			3	1			0.088	0.088
			3	3			0.053	0.053

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本植防協会研究所 (No. FL18 公)	大日本イキ (*No. FL18 社)		
なす (施設) (果実) H14 HPLC 法	フロアブル(30%) 2000倍 200L/10a 3回散布	群馬植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	1	0.03	0.03	0.03	0.03
			3	3	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		日植防 宮崎	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	1	0.12	0.12	0.12	0.12
			3	3	0.08	0.08	0.08	0.08
			3	7	0.02	0.02	0.03	0.03
					-	(株)エスコ (*No. FL18 社)		
なす (施設) (果実) H14 HPLC 法	フロアブル(30%) 2000倍 200L/10a 3回散布	長野植防 南信	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			3	1	/	/	0.06	0.06
			3	3	/	/	0.04	0.04
			3	7	/	/	0.02	0.02
		新潟植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			3	1	/	/	0.02	0.02
			3	3	/	/	<0.02	<0.02
			3	7	/	/	<0.02	<0.02
					-	(株)日曹分析センター (No. 92) ³⁾		
なす (施設) (果実) H27 HPLC 法 【GLP】	フロアブル(30%) 2000倍 5回散布 200~250 L/10a 222~225 L/10a	(株)ニッソー フィールド サービス	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			5	1	/	/	0.03	0.03
			5	3	/	/	0.03	0.03
			5	7	/	/	0.01	0.01
		油日アグリ サーチ(株)	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			5	1	/	/	0.02	0.02
			5	3	/	/	0.02	0.02
			5	7	/	/	<0.01	<0.01
					日本食品分析センター (*No. 12 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 12 社) ¹⁾		
きゅうり (施設) (果実) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 4000倍 250L/10a 5回散布	群馬植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			5	1	0.011	0.011	<0.02	<0.02
			5	3	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			5	7	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
		石川植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			5	1	0.011	0.008	0.02	0.02
			5	3	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			5	7	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

3) 2016 年 10 月 25 日提出

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No. 38 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 38 社) ¹⁾		
きゅうり (施設) (果実) H5 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 2000 倍 250L/10a 5 回散布	三重植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	1	0.056	0.053	0.056	0.053
			5	3	0.024	0.021	0.029	0.027
			5	7	0.005	0.005	0.005	0.005
		日植防 宮崎	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	1	0.043	0.040	0.048	0.048
			5	3	0.013	0.011	0.011	0.011
		宮城植防	5	7	0.003	0.003	<0.003	<0.003
			0	-	/	/	<0.003	<0.003
			5	1	/	/	0.056	0.053
			5	3	/	/	0.029	0.027
		日植防 茨城	5	7	/	/	0.008	0.005
0	-		/	/	<0.003	<0.003		
5	1		/	/	0.067	0.067		
5	3		/	/	0.035	0.032		
					日本食品分析センター (*No. FL6 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. FL6 社) ¹⁾		
きゅうり (施設) (果実) H8 ガスクロ法 HPLC 法	フロアブル(30%) 1000 倍 5 回散布 80-250L/10a(茨城) 250L/10a(群馬)	日植防 茨城	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	1	0.082	0.080	0.045	0.043
			5	3	0.027	0.027	0.021	0.021
		群馬植防	5	7	0.005	0.005	0.005	0.005
			0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	1	0.069	0.069	0.067	0.064
			5	3	0.045	0.043	0.032	0.032
			5	7	0.021	0.021	0.013	0.013
					日本食品分析センター (*No. 49 公)	大日本イネ (*No. 49 社)		
きゅうり (施設) (果実) H12 HPLC 法	水和剤(40%) 100g/5L/10a 5 回常温煙霧	日植防 茨城	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	1	0.03	0.03	0.02	0.02
			5	3	0.02	0.02	<0.01	<0.01
		日植防 宮崎	5	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	1	0.01	0.01	0.02	0.02
			5	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					— (株)日曹分析センター (No. 95) ³⁾			
きゅうり (施設) (果実) H27 HPLC 法 【GLP】	7077 ¹⁾ (30%) 2000 倍 7 回散布 167 L/10a(石川) 222 L/10a(福井) 159~267 L/10a(茨城) 160~280 L/10a(高知)	石川植防	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.02	<0.01 0.02
		福井植防	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.02	<0.01 0.02
		日植防 茨城	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.05	<0.01 0.05
		日植防 高知	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.05	<0.01 0.05
					— (株)日曹分析センター (No. 98) ³⁾			
きゅうり (施設) (果実) H27 HPLC 法 【GLP】	水和剤(40%) 2000 倍 7 回散布 167 L/10a(石川) 267 L/10a(福井) 159~267 L/10a(茨城) 160~280 L/10a(高知)	石川植防	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.03	<0.01 0.03
		福井植防	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.01	<0.01 0.01
		日植防 茨城	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.06	<0.01 0.06
		日植防 高知	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.07	<0.01 0.06
					日本食品分析センター (*No. 30 公) ¹⁾		大日本イキ (*No. 30 社) ¹⁾	
かぼちゃ (露地) (果実) H7 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 5 回散布 184~250L/10a(茨城) 300L/10a(高知)	日植防	0 5	- 7	<0.003 0.011	<0.003 0.011	<0.003 0.021	<0.003 0.019
		茨城	5 5	14 21	0.013 0.013	0.013 0.011	0.019 0.013	0.019 0.013
		日植防	0 5	- 7	<0.003 0.024	<0.003 0.024	<0.003 0.053	<0.003 0.053
		高知	5 5	14 21	0.013 0.005	0.011 0.005	0.021 0.013	0.021 0.013

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

3) 2016 年 10 月 25 日提出

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関		社内分析機関				
					イミノクタジン						
					最高値	平均値	最高値	平均値			
						(株)日曹分析センター (No. 91) ³⁾					
かぼちゃ (施設) (果実) H27 HPLC 法	7077 [®] Ⅱ(30%) 1000 倍 4 回散布 245~262L/10a(NFS) 221~228L/10a(AAR) 208~236L/10a(STS)	(株)ニッソー フィールド サービス	0	-	/	/	/	/			
			4	7					<0.01	<0.01	
			4	14					0.04	0.04	
			4	21					0.02	0.02	
		油日アグロ リサーチ(株)	0	-	/	/	/	/	/		
			4	7						0.04	0.04
			4	14						0.03	0.03
			4	21						0.03	0.03
		住化テクニ サービス(株)	0	-	/	/	/	/	/		
			4	7						0.03	0.03
			4	14						0.03	0.03
			4	21						0.03	0.03
						(株)日曹分析センター (*No. FL39 社)					
しろうり (露地) (果実) H17 HPLC 法	7077 [®] Ⅱ(30%) 1500 倍 5 回散布 250L/10a(岐阜) 150-210L/10a(宮崎) 5 回散布	岐阜植防	0	-	/	/	/	/			
			5	1					<0.02	<0.02	
			5	3					<0.02	<0.02	
			5	14					<0.02	<0.02	
		日植防 宮崎	0	-	/	/	/	/	/		
			5	1						<0.02	<0.02
			5	3						0.09	0.08
			5	14						0.06	0.06
						日本食品分析センター (*No. 11 公) ²⁾	大日本イネ (*No. 11 社) ¹⁾				
すいか (施設) (果肉) S63 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 500 倍 350L/10a 4 回散布	長野植防 南信	0	-	/	/	/	/			
			4	1					<0.007	<0.007	
			4	3					<0.007	<0.007	
		日植防 高知	0	-	/	/	/	/	/		
			4	1						<0.007	<0.007
			4	3						0.040	0.040
						日本食品分析センター (*No. 11 公) ²⁾	大日本イネ (*No. 11 社) ¹⁾				
すいか (施設) (果肉) H14 HPLC 法	7077 [®] Ⅱ(30%) 1000 倍 4 回散布 350L/10a(石川) 200L/10a(高知)	石川植防	0	-	/	/	/	/			
			4	1					<0.01	<0.01	
			4	3					<0.01	<0.01	
			4	7					<0.01	<0.01	
		日植防 高知	0	-	/	/	/	/	/		
			4	1						<0.01	<0.01
			4	3						<0.01	<0.01
			4	7						<0.01	<0.01
			4	3						<0.01	<0.01
			4	7						<0.01	<0.01

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

3) 2016 年 3 月 31 日提出

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No. 31 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 31 社) ¹⁾		
メロン (施設) (果肉) H7 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 250L/10a 5 回散布	石川植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			5	1	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			5	7	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			5	14	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
		熊本農研 センター	0	-	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			5	1	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			5	7	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			5	14	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
					-	(株)日曹分析センター (*No. FL37 社)		
とうがん (露地) (果実) H17 HPLC 法	フロアブル(30%) 1500 倍 250L/10a 5 回散布	神奈川 農技センター 三浦	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			5	1	/	/	0.02	0.02
			5	3	/	/	<0.02	<0.02
			5	14	/	/	<0.02	<0.02
		沖縄農試 宮古	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			5	1	/	/	<0.02	<0.02
			5	3	/	/	<0.02	<0.02
			5	14	/	/	<0.02	<0.02
					-	(株)日曹分析センター (*No. FL35 社)		
にがうり (施設) (果実) H19 HPLC 法	フロアブル(30%) 4000 倍 300L/10a 3 回散布	宮崎病害 虫防除肥 料検査セ 都城	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			3	1	/	/	0.15	0.14
			3	3	/	/	0.13	0.12
			3	7	/	/	0.14	0.14
		宮崎病害 虫防除肥 料検査セ 宮崎	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			3	1	/	/	0.15	0.15
			3	3	/	/	0.10	0.10
			3	7	/	/	0.08	0.08
					日本食品分析センター (*No. 7 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 7 社) ¹⁾		
温州みかん (施設) (果肉) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 3 回散布 400L/10a(静岡) 500L/10a(長崎)	静岡柑試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	7	0.040	0.037	<0.02	<0.02
			3	14	0.056	0.053	<0.02	<0.02
		長崎果試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	7	0.043	0.040	<0.02	<0.02
			3	14	0.043	0.043	<0.02	<0.02

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					—	大日本イキ (*No. 35 社) ¹⁾		
温州みかん (施設) (果肉) H5 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 400L/10a 3 回散布	静岡柑試	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			3	7			0.011	0.011
			3	14			0.024	0.021
		愛知 農総試 蒲郡	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			3	7			0.019	0.019
			3	14			0.013	0.013
					日本食品分析センター (*No. FL4 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. FL4 社) ¹⁾		
温州みかん (施設) (果肉) H8 ガスクロ法 HPLC 法	7077 N(30%) 1000 倍 400L/10a (大分のみ 1500L/10a) 3 回散布	高知農技 センター 果試	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			3	1			0.029	0.028
			3	7			0.022	0.022
			3	14			0.020	0.020
		大分柑試	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			3	1			0.056	0.056
			3	7			0.042	0.042
			3	14			0.061	0.059
		愛知 農総試 蒲郡	0	-	/	/	<0.001	<0.001
			3	1			0.023	0.022
			3	7			0.011	0.010
			3	14			0.018	0.018
佐賀果試	0	-	/	/	<0.001	<0.001		
	3	1			0.027	0.026		
	3	7			0.013	0.012		
	3	14			0.011	0.010		
					日本食品分析センター (*No. FL9-4 公)	大日本イキ (*No. FL9-4 社)		
温州みかん (露地) (果肉) H10 HPLC 法	7077 N(30%) 10 倍 5L/10a 3 回無人ヘリ散布	静岡柑試	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	3			0.01	0.01
			3	7			<0.01	<0.01
			3	14			<0.01	<0.01
		愛媛果試	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	3			0.01	0.01
			3	7			<0.01	<0.01
			3	14			<0.01	<0.01

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No. 46-2 公)	(株)化学分析コンサルタント (*No. 46-2 社)		
温州みかん (施設) (果肉) H12 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 650L/10a(静岡) 400L/10a(長崎) 3 回散布	静岡柑試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	1	0.03	0.03	0.04	0.04
			3	3	<0.02	<0.02	0.02	0.02
			3	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		長崎果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	1	0.02	0.02	0.03	0.03
			3	3	<0.02	<0.02	0.03	0.03
			3	7	0.03	0.03	0.04	0.04
					日本食品分析センター (*No. FL14 公)	大日本イネ (*No. FL14 社)		
温州みかん (施設) (果肉) H13 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 1000 倍 400L/10a 3 回散布	日植防 高知	0	-	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
			3	1	0.02	0.02	0.02	0.02
			3	3	0.04	0.04	<0.01	<0.01
			3	7	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
		日植防 宮崎	0	-	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
			3	1	0.05	0.05	<0.01	<0.01
			3	3	0.07	0.07	<0.01	<0.01
			3	7	0.05	0.05	<0.01	<0.01
		徳島農水 総技センター 果試	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	1	/	/	0.03	0.03
			3	3	/	/	0.03	0.03
			3	7	/	/	0.03	0.03
佐賀果試	0	-	/	/	<0.01	<0.01		
	3	1	/	/	<0.01	<0.01		
	3	3	/	/	<0.01	<0.01		
	3	7	/	/	<0.01	<0.01		
					日本食品分析センター (*No. 8 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 8 社) ¹⁾		
温州みかん (施設) (果皮) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 3 回散布 400L/10a(静岡) 500L/10a(長崎)	静岡柑試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03
			3	7	1.45	1.43	1.36	1.36
			3	14	1.22	1.18	1.14	1.11
		長崎果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03
			3	7	2.15	2.14	1.79	1.73
			3	14	2.43	2.31	1.17	1.08
						大日本イネ (*No. 35 社) ¹⁾		
温州みかん (施設) (果皮) H5 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 400L/10a 3 回散布	静岡柑試	0	-	/	/	<0.06	<0.06
			3	7	/	/	2.15	2.10
			3	14	/	/	1.87	1.76
		愛知 農総試 蒲郡	0	-	/	/	<0.06	<0.06
			3	7	/	/	1.44	1.40
			3	14	/	/	1.61	1.60

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		社内分析機関			
					イミノクタジン					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					日本食品分析センター (*No. FL4 公)	大日本イネキ (*No. FL4 社)				
温州みかん (施設) (果皮) H8 ガスクロ法 HPLC 法	7077 [®] (30%) 1000 倍 400L/10a (大分のみ 1500L/10a) 3 回散布	高知農技 センター 果試	0	-	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05		
			3	1	1.38	1.32	2.25	2.24		
			3	7	1.62	1.62	2.10	2.05		
			3	14	1.54	1.52	1.92	1.92		
		大分柑試	0	-	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05		
			3	1	2.04	2.02	2.33	2.30		
			3	7	1.67	1.66	2.15	2.14		
		愛知 農総試 蒲郡	3	14	1.74	1.68	1.86	1.86		
			0	-	/	/	<0.05	<0.05		
			3	1	/	/	2.61	2.58		
		佐賀果試	3	7	/	/	2.47	2.45		
			3	14	/	/	2.01	1.98		
			0	-	/	/	<0.05	<0.05		
					3	1	/	/	3.38	3.35
					3	7	/	/	3.00	2.98
					3	14	/	/	2.26	2.24
					日本食品分析センター (*No. FL9-4 公)	大日本イネキ (*No. FL9-4 社)				
温州みかん (露地) (果皮) H10 HPLC 法	7077 [®] (30%) 10 倍 5L/10a 3 回無人ヘリ散布	静岡柑試	0	-	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02		
			3	3	1.18	1.17	1.14	1.14		
			3	7	0.87	0.86	0.86	0.85		
			3	14	0.96	0.94	0.97	0.95		
		愛媛果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		
			3	3	0.42	0.41	0.35	0.34		
			3	7	0.35	0.34	0.33	0.32		
			3	14	0.48	0.47	0.47	0.46		
					日本食品分析センター (*No. 47 公)	(株)化学分析コンサルタント (*No. 47 社)				
温州みかん (施設) (果皮) H12 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 650L/10a(静岡) 400L/10a(長崎) 3 回散布	静岡柑試	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
			3	1	1.72	1.65	3.60	3.49		
			3	3	1.93	1.84	3.69	3.54		
			3	7	1.57	1.50	3.23	3.20		
		長崎果試	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
			3	1	1.02	1.02	2.37	2.26		
			3	3	1.11	1.06	1.78	1.74		
			3	7	0.80	0.76	2.16	2.12		

- 1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)
- 2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No. FL15 公)		大日本イネ (*No. FL15 社)	
温州みかん (施設) (果皮) H13 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 1000 倍 400L/10a 3 回散布	日植防 高知	0	-	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02
			3	1	0.47	0.46	0.91	0.91
			3	3	0.45	0.44	0.79	0.78
			3	7	0.50	0.50	0.58	0.58
		日植防 宮崎	0	-	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02
			3	1	0.82	0.81	1.95	1.94
			3	3	1.00	0.98	1.77	1.71
			3	7	0.85	0.84	1.30	1.30
		徳島農水 総技センター 果試	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			3	1	/	/	3.47	3.44
			3	3	/	/	3.34	3.28
			3	7	/	/	2.84	2.72
		佐賀果試	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			3	1	/	/	3.16	3.12
3	3		/	/	2.73	2.64		
3	7		/	/	2.33	2.32		
					日本食品分析センター (*No. 9 公) ¹⁾		大日本イネ (*No. 9 社) ¹⁾	
なつみかん (露地) (果肉) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 500L/10a 3 回散布	徳島植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	7	0.008	0.005	<0.02	<0.02
			3	14	0.005	0.005	<0.02	<0.02
		鹿児島 果試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
3	7		<0.003	<0.003	<0.02	<0.02		
3	14	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02			
					日本食品分析センター (*No. 10 公) ¹⁾		大日本イネ (*No. 10 社) ¹⁾	
なつみかん (露地) (果皮) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 500L/10a 3 回散布	徳島植防	0	-	<0.006	<0.006	<0.03	<0.03
			3	7	1.12	1.07	1.16	1.15
			3	14	1.03	1.03	0.96	0.90
		鹿児島 果試	0	-	<0.006	<0.006	<0.03	<0.03
			3	7	0.120	0.117	0.16	0.15
			3	14	0.117	0.114	0.09	0.08

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No.FL12[FL27]公)	大日本イキ (*No.FL12[FL27]社)		
なつみかん (露地) (果実全体) H14 HPLC 法	7077 ^g /L(30%) 1000倍 2回散布 600L/10a(大分) 816L/10a(山口) 400L/10a(鹿児島,徳島)	大分 肥料植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			2	1	0.16	0.16	0.19	0.19
			2	3	0.15	0.14	0.20	0.20
			2	7	0.09	0.08	0.13	0.12
		鹿児島 植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			2	1	0.08	0.08	0.09	0.08
			2	3	0.08	0.08	0.08	0.08
		山口 萩柑試	2	7	0.08	0.08	0.09	0.08
			0	-	/	/	<0.05	<0.05
			2	1	/	/	0.42	0.41
		徳島植防	2	3	/	/	0.25	0.24
			2	7	/	/	0.19	0.19
			0	-	/	/	<0.05	<0.05
					2	1	/	/
2	3				/	/	0.17	0.17
2	7				/	/	0.12	0.12
					-	大日本イキ (*No. 40 社)		
小粒柑橘 (露地) (果実全体) H9 HPLC 法	水和剤(40%) 2000倍 400L/10a 2回散布	埼玉植防 (ゆず)	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			2	7	/	/	0.104	0.102
			2	14	/	/	0.064	0.062
		徳島植防 (すだち)	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			2	7	/	/	0.088	0.086
			2	14	/	/	0.061	0.058

- 1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)
- 2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		社内分析機関			
					イミノクタジン					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					日本食品分析センター (*No. FL2 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. FL2 社) ¹⁾				
りんご (露地) (果実) H8 ガスクロ法 HPLC 法	フロアブル(30%) 500倍 300L/10a 3回散布 イミノクタジン酢酸塩塗布剤(3%) 原液 2回樹幹塗布 フロアブル(30%) 1000倍 600L/10a 3回散布(開花後) 合計 8回	茨城農総 センター 山間特産	0	-	<0.01	<0.01	<0.003	<0.003		
			8	3	0.16	0.16	0.090	0.088		
			8	7	0.18	0.18	0.133	0.128		
			8	14	0.07	0.07	0.093	0.090		
		石川植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.003	<0.003		
			8	3	0.17	0.16	0.210	0.200		
			8	7	0.11	0.10	0.117	0.112		
			8	14	0.07	0.07	0.088	0.085		
					日本食品分析センター (*No. FL31 公)	(株)化学分析コンサルタント (*No. FL31 社)				
りんご (露地) (果実) H15 HPLC 法	フロアブル(30%) 500倍 300L/10a 3回散布 イミノクタジン酢酸塩塗布剤(3%) 原液 2回塗布 フロアブル(30%) 1000倍 500L/10a (青森のみ 750倍 600L/10a) 3回散布(開花後) 合計 8回	青森植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		
			8	1	0.15	0.15	0.13	0.12		
			8	3	0.12	0.12	0.11	0.10		
			8	7	0.12	0.12	0.10	0.10		
			8	21	0.10	0.10	0.08	0.08		
		岩手植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		
			8	1	0.16	0.16	0.21	0.20		
			8	3	0.13	0.13	0.14	0.14		
			8	7	0.08	0.08	0.10	0.10		
			8	21	0.05	0.04	0.07	0.06		
		長野植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02		
			8	1	/	/	0.24	0.24		
			8	3	/	/	0.13	0.13		
			8	7	/	/	0.10	0.10		
			8	21	/	/	0.03	0.02		
		石川植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02		
			8	1	/	/	0.23	0.22		
			8	3	/	/	0.22	0.22		
			8	7	/	/	0.12	0.12		
			8	21	/	/	0.09	0.08		
		りんご (露地) (果実) H16 HPLC 法		岩手植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
					8	1	/	/	0.06	0.06
					8	3	/	/	0.12	0.12
					8	7	/	/	0.06	0.06
8	21				/	/	0.04	0.04		
長野植防 須坂	0			-	/	/	<0.02	<0.02		
	8			1	/	/	0.18	0.18		
	8			3	/	/	0.22	0.22		
	8			7	/	/	0.11	0.11		
	8			21	/	/	0.06	0.06		

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
						(株)日曹分析センター (*No. FL34 社)		
りんご (露地) (果実) H18 HPLC 法	7077 ^g /L(30%) 500 倍 300L/10a 3 回散布 イミノクタジン酢酸塩塗布剤(3%) 原液 2 回塗布	青森植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1			0.14	0.12
			8	3			0.14	0.14
			8	7			0.10	0.10
		8	21			0.05	0.05	
		日植防 秋田	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1			0.15	0.15
			8	3			0.17	0.17
8	7		0.09	0.08				
8	21			0.06	0.06			
りんご (露地) (果実) H19 HPLC 法	7077 ^g /L(30%) 500 倍 300L/10a 3 回散布 イミノクタジン酢酸塩塗布剤(3%) 原液 2 回塗布	青森植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1			0.24	0.24
			8	3			0.18	0.18
			8	7			0.08	0.08
		8	21			0.07	0.06	
		日植防 秋田	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1			0.14	0.14
			8	3			0.11	0.10
8	7		0.10	0.10				
8	21			0.05	0.04			
					日本食品分析センター (*No. 51 公)	(株)化学分析コンサルタント (*No. 51-1 社)		
りんご (露地) (果実) H16 HPLC 法	水和剤(40%) 500 倍 300L/10a 3 回散布 イミノクタジン酢酸塩塗布剤(3%) 原液 2 回 樹幹塗布 水和剤(40%) 1000 倍 500L/10a 3 回散布(開花後) 合計 8 回	日植防 秋田	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1			0.23	0.22
			8	3			0.14	0.14
			8	7			0.15	0.15
		8	21			0.12	0.12	
		石川植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1			0.05	0.04
			8	3			0.03	0.03
			8	7			0.05	0.05
		8	21			<0.02	<0.02	
		長野植防 須坂	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1			0.27	0.26
			8	3			0.19	0.19
			8	7			0.18	0.18
		8	21			0.06	0.06	

- 1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)
- 2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
						(株)日曹分析センター (*No. 51-2 社)		
りんご (露地) (果実) H17 HPLC 法		石川植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1			0.03	0.03
			8	3			0.05	0.04
			8	7			<0.02	<0.02
			8	21			<0.02	<0.02
		長野植防 須坂	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1			0.05	0.04
			8	3			0.03	0.03
			8	7			<0.02	<0.02
			8	21			<0.02	<0.02
りんご (露地) (果実) H18 HPLC 法	水和剤(40%) 500倍 300L/10a 3回散布 イミノクタジン酢酸塩塗布剤(3%) 原液 2回 樹幹塗布 水和剤(40%) 1000倍 500L/10a 3回散布(開花後) 合計 8回	石川植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1			0.17	0.17
			8	3			0.12	0.11
			8	7			0.08	0.08
			8	21			0.09	0.08
		長野植防 須坂	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1			0.21	0.20
			8	3			0.26	0.26
			8	7			0.25	0.25
			8	21			0.08	0.08
りんご (露地) (果実) H19 HPLC 法		日植防 秋田	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1			0.10	0.10
			8	3			0.10	0.10
			8	7			0.08	0.08
			8	21			0.05	0.04
		青森植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1			0.21	0.20
			8	3			0.17	0.16
			8	7			0.11	0.10
			8	21			0.04	0.04
					(財)日本食品分析センター (*No. 3 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 3 社) ¹⁾		
なし (露地) (果実) S60 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000倍 5回散布 350L/10a(千葉) 500L/10a(鳥取)	千葉農試	0	-	/	/	<0.007	<0.007
			5	14			0.046	0.046
			5	28			0.013	0.013
			5	45			0.007	0.007
			5	45			0.007	0.007
		鳥取果試	0	-	/	/	<0.007	<0.007
			5	14			0.120	0.120
			5	28			0.080	0.080
			5	45			0.027	0.027
			5	45			0.027	0.027

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. FL10 公)		-	
日本なし (露地) (果実) H10 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 1500 倍 500L/10a 5 回散布	埼玉植防	0	-	0.013	0.013	/	/
			5	7	0.180	0.174		
			5	14	0.144	0.140		
			5	21	0.097	0.096		
		福井植防	0	-	<0.005	<0.005	/	/
			5	7	0.266	0.255		
			5	14	0.282	0.276		
			5	21	0.203	0.195		
					(財)残留農薬研究所 (*No. FL10 公)		大日本イネ (*No. FL10 社)	
日本なし (露地) (果実) H13 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 1500 倍 5 回散布 500L/10a(福島) 400L/10a(秋田)	秋田植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	7	0.21	0.20	0.28	0.26
			5	14	0.19	0.18	0.21	0.20
			5	21	0.15	0.14	0.19	0.18
		福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	7	0.21	0.21	0.21	0.20
			5	14	0.15	0.15	0.21	0.20
			5	21	0.12	0.12	0.15	0.15
					-		大日本イネ (*No. FL10 社)	
日本なし (露地) (果実) H13 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 1500 倍 500L/10a 5 回散布	長野植防 南信	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			5	7			0.29	0.28
			5	14			0.27	0.26
			5	21			0.14	0.14
		鳥取園試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	7	0.29	0.28	0.29	0.28
			5	14	0.22	0.22	0.22	0.22
			5	21	0.12	0.12	0.12	0.12
					(財)日本食品分析センター (*No. 26 公) ¹⁾		大日本イネ (*No. 26 社) ¹⁾	
びわ (千葉:露地 長崎:施設) (果肉) H7 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 3 回散布 300L/10a(千葉) 400L/10a(長崎)	千葉 暖地園試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	7	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	13	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
		長崎果試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	7	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	14	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本植防協会研究所 (*No. FL23 公)	(株)エスコ (*No. FL23 社)		
ネクタリン (露地) (果実全体) H15 HPLC 法	フロアブル(30%) 2000 倍 2 回散布 400L/10a(福島植防,群馬) 15L/樹(福島果試) 270L/10a(青森)	福島植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
			2	1	0.10	0.10	0.06	0.06
			2	7	0.05	0.04	0.06	0.06
			2	21	0.04	0.04	0.06	0.06
		群馬植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
			2	1	0.07	0.07	0.10	0.10
			2	7	0.05	0.05	0.05	0.05
			2	21	0.02	0.02	<0.05	<0.05
		福島果試	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			2	1	/	/	0.11	0.10
			2	7	/	/	0.09	0.09
			2	21	/	/	0.06	0.07
		青森植防	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			2	1	/	/	0.13	0.12
			2	7	/	/	0.13	0.12
			2	21	/	/	0.07	0.06
					日本植防協会研究所 (*No. FL32 公)	(株)エスコ (*No. FL32 社)		
ネクタリン (露地) (果実全体) H16 LC/MS HPLC 法	フロアブル(30%) 1500 倍 400L/10a 2 回散布	青森植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			2	1	0.12	0.12	0.13	0.12
			2	7	0.10	0.10	0.10	0.10
			2	21	0.06	0.06	0.05	0.05
		福島植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			2	1	0.13	0.13	0.09	0.09
			2	7	0.10	0.10	0.06	0.06
			2	21	0.05	0.05	0.04	0.04
		群馬植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			2	1	/	/	0.11	0.11
			2	7	/	/	0.07	0.07
			2	21	/	/	0.07	0.07
		新潟園研 センター	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			2	1	/	/	0.12	0.12
			2	7	/	/	0.08	0.08
			2	21	/	/	0.03	0.03

- 1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)
- 2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. 42 公)	大日本イキ (*No. 42 社)		
すもも (露地) (果実) H8 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 500L/10a 3 回散布	長野植防	0	-	0.004	0.004	0.008	0.006
			3	3	0.273	0.273	0.213	0.210
			3	7	0.166	0.163	0.117	0.116
			3	14	0.081	0.077	0.083	0.080
		和歌山 果園試	0	-	<0.003	<0.003	0.003	0.003
			3	3	0.198	0.190	0.248	0.242
			3	7	0.105	0.101	0.115	0.112
			3	14	0.042	0.040	0.056	0.054
					-	大日本イキ (*No. 52 社)		
すもも (露地) (果実) H19 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 400L/10a 3 回散布	和歌山 植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			3	3	/	/	0.14	0.14
			3	7	/	/	0.13	0.12
			3	14	/	/	0.07	0.06
		日植防 山梨	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			3	3	/	/	0.19	0.18
			3	7	/	/	0.12	0.12
			3	14	/	/	0.08	0.08
		福島植防	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	3	/	/	0.13	0.12
			3	7	/	/	0.12	0.10
			3	14	/	/	0.07	0.06
					(財)日本食品分析センター (*No. FL24 公)	大日本イキ (*No. FL24 社)		
すもも (露地) (果実) H14 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 2000 倍 3 回散布 400L/10a(長野) 500L/10a(和歌山)	長野植防 須坂	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	3	0.04	0.04	0.03	0.03
			3	7	0.04	0.04	0.03	0.03
			3	14	0.05	0.04	0.03	0.03
		和歌山 植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	3	0.04	0.04	0.04	0.04
			3	7	0.06	0.06	0.04	0.04
			3	14	0.03	0.03	0.03	0.03
					(財)日本食品分析センター (*No. 28 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 28 社) ¹⁾		
うめ (露地) (果実) H7 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 2000 倍 250L/10a 3 回散布	群馬植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			3	30	0.021	0.021	0.048	0.045
			3	45	0.016	0.016	0.037	0.037
			3	60	0.005	0.005	<0.006	<0.006
		徳島植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			3	30	0.048	0.045	0.104	0.096
			3	45	0.013	0.013	0.019	0.019
			3	60	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. FL29 公)	大日本イネ (*No. FL29 社)		
うめ (露地) (果実) H16 HPLC 法	7077 ¹⁾ (30%) 2000 倍 3 回散布 250L/10a(群馬) 200L/10a(和歌山)	群馬植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	7	0.08	0.07	0.08	0.08
			3	14	0.05	0.08	0.05	0.04
			3	28	0.04	0.04	0.04	0.03
		和歌山 植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	7	0.10	0.10	0.10	0.10
			3	14	0.07	0.06	0.06	0.06
			3	27	0.06	0.06	0.06	0.06
					-	(株)日曹分析センター (No. 100) ³⁾		
うめ (露地) (果実) H29 HPLC 法 【GLP】	水和剤(30%) 2000 倍 3 回散布 333 L/10a(福島) 356 L/10a(和歌山)	福島植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	1			0.55	0.54
			3	3			0.45	0.44
			3	7			0.37	0.36
			3	14			0.23	0.23
			3	21			0.08	0.08
			3	28			0.05	0.05
			和歌山 植防	0			-	<0.01
		3		1	0.66	0.66		
		3		3	0.50	0.50		
		3		7	0.45	0.44		
		3		14	0.26	0.26		
		3		21	0.24	0.24		
		3	28	0.22	0.22			
					(財)日本食品分析センター (*No. FL1 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. FL1 社) ¹⁾		
おうとう (施設) (果実) H8 ガスクロ法 HPLC 法	7077 ¹⁾ (30%) 1000 倍 500L/10a 3 回散布	岩手植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.003	<0.003
			3	7	0.53	0.51	0.372	0.370
			3	14	0.23	0.23	0.250	0.250
			3	21	0.15	0.15	0.141	0.138
		長野植防 須坂	0	-	<0.02	<0.02	<0.003	<0.003
			3	7	0.71	0.68	0.423	0.418
			3	13	0.63	0.60	0.779	0.755
			3	20	0.38	0.37	0.325	0.317

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

3) 2018 年 2 月 28 日提出

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. 46 公)	大日本イキ (*No. 46 社)		
おうとう (施設) (果実) H11 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 500L/10a 3 回散布	日植防 秋田	0	-	<0.01	<0.01	<0.013	<0.013
			3	1	1.27	1.27	1.312	1.284
			3	3	0.94	0.91	0.962	0.937
			3	7	0.67	0.67	0.660	0.648
		長野植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.013	<0.013
			3	1	0.38	0.37	0.407	0.401
			3	3	0.36	0.35	0.340	0.332
			3	7	0.30	0.29	0.280	0.270
					(財)日本食品分析センター (*No. 23 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 23 社) ¹⁾		
いちご (施設) (果実) H6-7 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 5 回散布(定植前) 200L/10a(埼玉) 150L/10a(千葉)	埼玉植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	217	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		千葉農試 砂地 野菜研	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	126	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	水和剤(40%) 1000 倍 5 回散布(定植前) 200L/10a(埼玉) 150L/10a(千葉) 4000 倍 200L/10a 2 回散布 合計 7 回	埼玉植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			7	1	0.136	0.133	0.128	0.128
			7	8	0.074	0.074	0.069	0.069
		千葉農試 砂地 野菜研	7	15	0.037	0.037	0.040	0.037
			0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			7	1	0.149	0.149	0.112	0.112
7	7	0.088	0.085	0.098	0.090			
7	14	0.051	0.051	0.064	0.061			
					日本植防協会研究所 (*No. FL30 公)	大日本イキ (*No. FL30 社)		
いちご (施設) (果実) H14 HPCL 法	7077% (30%) 750 倍 200L/10a 5 回散布(仮植前) 2000 倍 200L/10a 2 回散布 合計 7 回	三重植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02
			7	1	0.18	0.16	0.19	0.18
			7	7	0.10	0.10	0.12	0.12
			7	14	0.07	0.06	0.09	0.08
		奈良植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02
			7	1	0.25	0.25	0.18	0.18
			7	7	0.20	0.20	0.14	0.14
			7	7	0.20	0.20	0.14	0.14
			7	7	0.20	0.20	0.14	0.14
			7	14	0.09	0.08	0.13	0.13

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. 4 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 4 社) ¹⁾		
キウイフルーツ (露地) (果肉) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000倍 300L/10a 5回散布	静岡柑試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			5	1	0.021	0.019	<0.02	<0.02
			5	7	0.008	0.005	<0.02	<0.02
		大分農技 センター	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
5	1		0.019	0.019	<0.02	<0.02		
					(財)日本食品分析センター (*No. 48 公)	大日本イキ (*No. 48 社)		
マンゴー (施設) (果実) H10 HPLC 法	水和剤(40%) 1000倍 500L/10a 3回散布	鹿児島 農試 大島	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	15	0.25	0.24	0.25	0.24
			3	44	0.19	0.18	0.20	0.20
			3	75	0.04	0.04	0.04	0.04
		沖縄農試 名護	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.36	0.34	0.20	0.20
			3	43	0.22	0.22	0.11	0.10
						0.02	0.02	
					-	(株)化学分析コンサルタント (*No. 50 社)		
あけび (露地) (果実) H17 LC/MS 法	水和剤(40%) 3000倍 2回散布 500L/10a(宮城) 360L/10a(熊本)	宮城 農業・園芸 総研	0	-	/	/	<0.03	<0.03
			2	14	/	/	0.04	0.04
			2	22	/	/	0.04	0.04
			2	42	/	/	<0.03	<0.03
		熊本 農研センター 果樹研	0	-	/	/	<0.03	<0.03
			2	14	/	/	0.06	0.06
					/	/	<0.03	<0.03
					岐阜県農業技術研究所 (*No. FL33 公)		-	
くり (露地) (果実) H17 ガスクロ法	7077 ^g /L(30%) 1000倍 300L/10a 2回散布	岐阜 中津川	0	-	<0.007	<0.007	/	/
			2	14	<0.007	<0.007	/	/
			2	21	<0.007	<0.007	/	/
			2	28	<0.007	<0.007	/	/
		岐阜 恵那	0	-	<0.007	<0.007	/	/
			2	14	<0.007	<0.007	/	/
			2	20	<0.007	<0.007	/	/
			2	28	<0.007	<0.007	/	/

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. 19 公) ¹⁾		大日本イネ (*No. 19 社) ¹⁾	
茶 (露地) (荒茶) H3 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 200L/10a 2 回散布	高知 農技術 センター	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03
			2	7	0.71	0.68	0.69	0.69
			2	14	0.23	0.22	0.18	0.17
			2	21	0.03	0.03	<0.03	<0.03
		鹿児島 茶試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03
			2	7	1.20	1.18	1.16	1.12
			2	14	0.48	0.46	0.37	0.36
			2	21	0.04	0.04	0.05	0.04
					(財)日本食品分析センター (*No. FL16 公)		大日本イネ (*No. FL16 社)	
茶 (露地) (荒茶) H14 HPLC 法	フロアブル(30%) 1500 倍 200L/10a 2 回散布	茨城 農総センター	0	-	<0.05	<0.05	<0.1	<0.1
			2	7	3.30	3.18	4.6	4.6
			2	14	0.99	0.96	1.6	1.6
			2	21	0.28	0.26	0.3	0.3
		高知 農技センター	0	-	<0.05	<0.05	<0.1	<0.1
			2	7	1.20	1.20	2.1	2.0
			2	14	0.44	0.44	0.7	0.7
			2	21	0.25	0.24	0.2	0.2

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所 (No. 7) ¹⁾	大日本インキ(株) (No. 8) ¹⁾		
水稲 (露地) (玄米) S55 ガスクロ法 HPLC 法	粉剤(2%) 4kg/10a 2回または4回散布	福岡農試	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			2	14	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			2	21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			2	28	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			4	14	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			4	21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			4	28	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			茨城農試	0	-	<0.04	<0.04	<0.04
		2		13	0.04	0.04	<0.04	<0.04
		2		19	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
		2		26	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
		4		13	0.04	0.04	<0.04	<0.04
		4		19	0.04	0.04	<0.04	<0.04
							(財)残留農薬研究所 (No. 29) ¹⁾	大日本インキ(株) (No. 30) ¹⁾
水稲 (露地) (玄米) S59 ガスクロ法 HPLC 法	粉剤 DL(1.5%) 4kg/10a 4回散布	日植防 高知	0	-	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003
			4	14	0.015	0.013	0.010	0.009
			4	21	0.015	0.013	0.005	0.005
			4	27	0.006	0.006	0.011	0.009
		千葉農試	0	-	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003
			4	14	0.015	0.014	0.014	0.013
			4	20	0.007	0.006	0.007	0.006
			4	28	0.007	0.007	0.008	0.008
					-	大日本インキ(株) (No. 92)		
水稲 (露地) (玄米) H14 HPLC 法	粉剤 DL(1.5%) 4kg/10a 3回散布	青森植防	0	-	/	/	<0.005	<0.005
			3	14	/	/	0.007	0.007
			3	21	/	/	0.006	0.006
			3	28	/	/	<0.005	<0.005
		熊本 農業研究 センター	0	-	/	/	<0.005	<0.005
			3	14	/	/	0.005	0.005
			3	21	/	/	<0.005	<0.005
			3	28	/	/	<0.005	<0.005
		石川植防	0	-	/	/	<0.005	<0.005
			3	14	/	/	0.015	0.015
			3	21	/	/	0.009	0.008
			3	28	/	/	<0.005	<0.005
		滋賀植防	0	-	/	/	<0.005	<0.005
			3	14	/	/	0.008	0.008
			3	21	/	/	<0.005	<0.005
3	28		/	/	<0.005	<0.005		

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシド酢酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					イミノクタジン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)残留農業研究所 (No. 7) ¹⁾	大日本インキ(株) (No. 8) ¹⁾			
水稲 (露地) (稲わら) S55 ガスクロ法 HPLC 法	粉剤(2%) 4kg/10a 2回または4回散布	福岡農試	0	-	<0.06	<0.06	<0.4	<0.4	
			2	14	4.54	4.48	1.6	1.5	
			2	21	6.18	6.12	6.2	5.9	
			2	28	6.90	6.69	2.4	2.4	
		茨城農試	0	-	<0.06	<0.06	<0.4	<0.4	
			2	13	5.38	5.27	5.4	5.2	
			2	19	3.34	3.06	2.7	2.4	
			2	26	3.96	3.53	2.7	2.4	
			0	-	<0.06	<0.06	<0.4	<0.4	
			2	13	5.38	5.27	5.4	5.2	
			2	19	3.34	3.06	2.7	2.4	
			2	26	3.96	3.53	2.7	2.4	
			4	13	6.41	6.20	7.8	7.5	
			4	19	5.39	4.96	5.8	5.3	
4	26		5.13	4.78	4.6	4.5			
					(財)残留農業研究所 (No. 29) ¹⁾	大日本インキ(株) (No. 30) ¹⁾			
水稲 (露地) (稲わら) S59 ガスクロ法 HPLC 法	粉剤 DL(1.5%) 4kg/10a 4回散布	日植防 高知	0	-	<0.02	<0.02	<0.2	<0.2	
			4	14	4.68	4.26	3.8	3.6	
			4	21	4.09	3.65	2.8	2.8	
			4	27	1.02	0.92	2.5	2.3	
		千葉農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.2	<0.2	
			4	14	4.03	3.75	1.4	1.4	
			4	20	1.74	1.67	1.4	1.3	
			4	28	4.05	3.59	4.0	3.7	
							-	大日本インキ(株) (No. 92)	
		水稲 (露地) (稲わら) H14 HPLC 法	粉剤 DL(1.5%) 4kg/10a 3回散布	青森植防	0	-	/	/	<0.08
3	14				/	/	3.24	3.20	
3	21				/	/	2.99	2.99	
3	28				/	/	2.54	2.54	
熊本 農業研究 センター	0			-	/	/	<0.08	<0.08	
	3			14	/	/	2.72	2.56	
	3			21	/	/	2.08	2.06	
	3			28	/	/	1.41	1.38	
石川植防	0			-	/	/	<0.08	<0.08	
	3			14	/	/	2.79	2.78	
	3			21	/	/	1.99	1.98	
	3			28	/	/	0.39	0.38	
滋賀植防	0			-	/	/	<0.08	<0.08	
	3			14	/	/	2.37	2.36	
	3			21	/	/	1.87	1.75	
	3			28	/	/	1.22	1.14	

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					イミノクタジン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)日本食品分析 センター(No. 15) ¹⁾	大日本インキ (No. 16) ¹⁾			
小麦 (露地) (子実) S57 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 100L/10a 1回根雪前散布	北海道 上川農試	0 1	- 273	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	
		北海道 十勝農試	0 1	- 262	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	
					(財)日本食品分析 センター(No. 17) ¹⁾	クミアイ化学工業(株) (No. 18) ¹⁾			
小麦 (露地) (脱穀した種子) S58 ガスクロ法	粉剤 DL(1.5%) 3kg/10a 1回根雪前散布	北海道 中央農試	0 1	- 245	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	
		北海道 上川農試	0 1	- 256	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	
					(財)日本食品分析 センター(No. 49) ¹⁾	大日本インキ (No. 50) ¹⁾			
小麦 (露地) (子実) S59 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 原液 1回種子処理 10mL/kg 種子(十勝) 100mL/kg 種子(北見) 500倍 3回散布 100~150 L/10a(十勝) 150 L/10a(北見) 合計 4回	北海道 十勝農試	0 4	- 245	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	
		北海道 北見農試	0 4	- 254	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	
					(財)日本食品分析 センター(No. 69) ¹⁾	大日本インキ (No. 70) ¹⁾			
小麦 (露地) (脱穀した種子) H2,3 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 150 L/10a 3回散布 2000倍 150 L/10a 1回散布合 計 4回 液剤(25%) 1000倍 150 L/10a 4回散布	福島植防	0 4 4	- 30 40	<0.004 <0.004 <0.004	<0.004 <0.004 <0.004	<0.004 <0.004 <0.004	<0.004 <0.004 <0.004	
			岐阜 農総研 センター	0 4	- 30	<0.004 0.004	<0.004 0.004	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004
				4	41	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアムベシル酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (北三 No. 1) ¹⁾	(株)化学分析コンサルタント (北三 No. 2) ¹⁾		
小麦 (露地) (種子) H5 ガスクロ法	液剤(25%) 1000倍 150L/10a 1回散布 2000倍 150L/10a 1回散布 フロアブル(15%)	北植防	0	-	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			6	30	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			6	40	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	500倍 150L/10a 2回散布 粉剤 DL(1.5%) 3kg/10a 2回散布 合計 6回	北海道 病害虫 防除所	0	-	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			6	30	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			6	40	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
					(財)日本食品分析 センター(No. 76) ¹⁾	大日本インキ (No. 77) ¹⁾		
小麦 (露地) (脱穀した種子) H6-8 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 150L/10a 3回散布 2000倍 150L/10a 2回散布 フロアブル(15%)	日植防 茨城	0	-	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			9	14	0.013	0.013	0.026	0.025
			9	21	0.004	0.004	0.007	0.007
	500倍 150L/10a 2回散布 粉剤 DL(1.5%) 3kg/10a 2回散布 合計 9回	群馬植防	0	-	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			9	14	0.025	0.024	0.041	0.038
			9	21	0.020	0.018	0.025	0.023
	液剤(25%) 1000倍 150L/10a 5回散布 フロアブル(15%) 500倍 150L/10a 2回散布 粉剤 DL(1.5%) 3kg/10a 2回 散布 合計 9回	日植防 茨城	0	-	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			9	14	0.035	0.033	0.044	0.044
			9	21	0.022	0.021	0.025	0.025
		群馬植防	0	-	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			9	14	0.082	0.080	0.100	0.100
			9	21	0.030	0.029	0.044	0.044
埼玉植防		0	-			<0.004	<0.004	
		9	14			0.052	0.052	
		9	21			0.023	0.021	
長野植防 須坂	0	-			<0.004	<0.004		
	9	14			0.052	0.050		
9	21			0.033	0.033			
					(財)日本食品分析センター (No. 100)	(株)日曹分析センター (No. 101)		
小麦 (露地) (玄麦) H17 HPLC法	フロアブル(15.7%) 6倍 3回無人へり散布 (出穂後1回)	北植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	0.8L/10a(北海道) 0.84-0.98L/10a(群馬)	群馬植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	13	0.01	0.01	<0.01	<0.01
	3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 102)	(株)日曹分析センター (No. 103)		
小麦 (露地) (種子) H17 HPLC 法	7077 ^μ L(15.7%) 出穂前 500 倍 2 回散布 出穂後 800 倍 1 回散布 100L/10a(岩手) 150L/10a(長野) 合計 3 回	岩手植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.03	0.03	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		長野植防 須坂	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.02	0.02	<0.01	<0.01
			3	14	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					(財)日本食品分析センター (No. 113)	(株)日曹分析センター (No. 114)		
小麦 (露地) (種子) H17 HPLC 法	液剤(25%) 1000 倍 3 回散布 (出穂後 1 回) 100L/10a(岩手) 130L/10a(青森) 150L/10a(十勝、長野) 合計 3 回	青森植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.08	0.08	0.04	0.04
			3	14	0.04	0.04	0.02	0.02
			3	28	0.02	0.02	0.01	0.01
		長野植防 松代	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.05	0.04	0.01	0.01
			3	14	0.02	0.02	0.01	0.01
			3	28	0.01	0.01	<0.01	<0.01
		岩手植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	7	/	/	0.02	0.02
			3	14	/	/	0.01	0.01
			3	28	/	/	0.01	0.01
日植調 十勝	0	-	/	/	<0.01	<0.01		
	3	6	/	/	0.01	0.01		
	3	13	/	/	0.04	0.04		
	3	27	/	/	0.01	0.01		
					(財)日本食品分析センター (No. 113)	(株)日曹分析センター (No. 114)		
小麦 (露地) (種子) H18 HPLC 法	液剤(25%) 1000 倍 3 回 散布 (出穂後 1 回) 100L/10a(岩手) 150L/10a(青森、長野)	青森植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	7	/	/	0.02	0.02
			3	14	/	/	0.04	0.04
			3	28	/	/	0.01	0.01
		岩手植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	7	/	/	0.02	0.02
			3	14	/	/	0.01	0.01
			3	28	/	/	<0.01	<0.01
		長野植防 松代	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	7	/	/	0.02	0.02
			3	14	/	/	0.01	0.01
			3	28	/	/	<0.01	<0.01

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアセチル酢酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 115)	(株)日曹分析センター (No. 116)		
小麦 (露地) (種子) H17, 18 HPLC 法	7077 ¹⁾ L(15.7%) 500 倍 150L/10a 2 回 散布(出穂前) 800 倍 150L/10a 1 回 散布(出穂後) 合計 3 回	群馬植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.06	0.06	0.01	0.01
			3	14	0.04	0.04	0.01	0.01
			3	28	0.01	0.01	<0.01	<0.01
		青森植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	7	/	/	0.02	0.02
			3	14	/	/	0.02	0.02
			3	28	/	/	<0.01	<0.01
		岩手植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	7	/	/	0.05	0.05
			3	14	/	/	0.03	0.02
		長野植防 松代	0	-	/	/	0.02	0.02
3	7		/	/	<0.01	<0.01		
					(財)残留農薬研究所 (No. 9) ¹⁾	三共株式会社 (No. 10) ¹⁾		
大麦 (露地) (種子) S56 ガスクロ法	液剤(25%) 250 倍 30 分間種子浸漬 1000 倍 2 回散布 100L/10a(栃木)、 150L/10a(茨城) 合計 3 回	茨城農試	0	-	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
			3	40	0.06	0.06	<0.06	<0.06
	栃木農試	0	-	<0.04	<0.04	<0.06	<0.06	
3		57	<0.04	<0.04	<0.06	<0.06		
	液剤(25%) 500 倍 30 分間種子浸漬		0	-	<0.04	<0.04	<0.06	<0.06
			1	232	<0.04	<0.04	<0.06	<0.06
					(財)日本食品分析センター (No. 117) ¹⁾	(株)日曹分析センター (No. 118) ¹⁾		
大麦 (露地) (種子) H18 LC/MS 法 HPLC 法	液剤(25%) 種子重量の 0.5% 1 回塗沫処理 1000 倍 150L/10a 2 回散布 合計 3 回	岩手植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	197	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		福井植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	177	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシム酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 119)	(株)日曹分析センター (No. 120)		
大麦 (露地) (種子) H19 LC/MS 法 HPLC 法	7077 ^g /L(15.7%) 1000 倍 150L/10a 2 回散布(出穂前) 1 回散布(出穂後) 合計 3 回	日植防 茨城	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			3	7	0.440	0.438	0.25	0.24
			3	14	0.353	0.352	0.17	0.16
		福井植防	3	28	0.125	0.124	0.06	0.06
			0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			3	7	0.686	0.674	0.20	0.20
					(財)日本食品分析センター (サンケイキャベツ公) ¹⁾	(株)サンケイ化学(株) (サンケイキャベツ社) ¹⁾		
キャベツ (露地) (葉球) H1 ガスクロ法	水和剤(2.5%) 500 倍 250L/10a 3 回散布	群馬 農総試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		長野植防 松代	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
					(財)残留農薬研究所 (No. 35) ¹⁾	(財)川村理化学 研究所(No. 36) ¹⁾		
たまねぎ (露地) (鱗茎) S58 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(5%) 750 倍 150L/10a 5 回 散布	大阪 農林技術 センター	0	-	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
			5	3	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
			5	7	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
		和歌山 農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
			5	3	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
			5	7	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
					(財)日本食品分析 センター(クマイニ社) ¹⁾	(株)化学分析コンサルタント (クマイニ社) ¹⁾		
根深ねぎ (露地) (茎葉) H3 ガスクロ法	水和剤(5%) 500 倍 1 回 定植時根部浸漬 1500 倍 3 回散布 130-200L/10a(茨城) 200L/10a(埼玉) 合計 4 回	日植防 茨城	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		埼玉植防	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	14	<0.007	<0.007	0.020	0.020
			4	21	<0.007	<0.007	0.007	<0.007
						(株)化学分析コンサルタント (クマイニ社) ¹⁾		
葉ねぎ (露地) (茎葉) H3 ガスクロ法	水和剤(5%) 500 倍 1 回 浸漬 1500 倍 200L/10a 3 回散布 合計 4 回	長野植防 松代	0	-	/	/	<0.007	<0.007
			4	13			0.013	0.013
			4	20			<0.007	<0.007
		鳥取園試 西伯	4	29			<0.007	<0.007
			0	-			<0.007	<0.007
			4	14			<0.007	<0.007
						0.013	0.013	
						0.013	0.013	

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					青森りんご試験場 (クマイニシキ 公) ¹⁾		—	
にんにく (露地) (鱗茎) H1 ガスクロ法	水和剤(5%) 1000倍 300L/10a 3回散布	青森農試 黒石市	0	-	<0.02	<0.02	/	/
			3	3	0.02	0.02		
			3	7	0.02	0.02		
			3	14	0.02	0.02		
		青森 畑作農試 三戸郡	0	-	<0.02	<0.02		
			3	3	0.02	0.02		
					(財)日本食品分析 センター(No. 37) ¹⁾		大日本インキ (No. 38 社) ¹⁾	
アスパラガス (露地) (若茎) S60 ガスクロ法 HPLC 法	液剤(25%) 1000倍 400L/10a 8回 散布(北海道) 5回 散布(長野)	北海道 中央農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			8	261	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		長野 野菜 花き試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	283	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
					(財)日本食品分析センター (クマイニシキ 公) ¹⁾		(株)化学分析コンサルタント (クマイニシキ 社) ¹⁾	
にんじん (露地) (根部) H2 ガスクロ法	水和剤(5%) 1500倍 5回散布 160L/10a(茨城) 200L/10a(高知)	日植防 茨城	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		日植防 高知	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
					(財)日本食品分析 センター(No. 33) ¹⁾		(財)川村理化学 研究所(No. 34) ¹⁾	
トマト (施設) (果実) S58 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(5%) 1000倍 200L/10a 3回または5回散布	日植防 茨城	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	1	0.013	0.013	0.013	0.013
			3	3	0.020	0.013	0.013	0.013
			3	7	0.020	0.013	0.007	0.007
			5	1	0.020	0.020	0.040	0.040
			5	3	<0.007	<0.007	0.020	0.013
		静岡農試	5	7	0.020	0.020	0.020	0.013
			0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	1	0.040	0.040	0.060	0.053
			3	3	0.046	0.040	0.053	0.046
			3	7	0.046	0.040	0.040	0.040
			5	1	0.053	0.046	0.100	0.093
			5	3	0.046	0.046	0.100	0.093
			5	7	0.040	0.040	0.046	0.040

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシ酢酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 86) ¹⁾	大日本インキ (No. 87) ¹⁾		
なす (施設) (果実) H8 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(5%) 1000倍 3回 散布 200L/10a(群馬) 300L/10a(大阪)	群馬植防	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	1	0.027	0.027	0.060	0.053
			3	3	0.013	0.013	0.033	0.027
			3	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		大阪 農林技術 センター	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	1	0.013	0.013	0.027	0.020
			3	3	<0.007	<0.007	0.020	0.020
			3	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
					(財)残留農薬研究所 (No. 11) ¹⁾	大日本インキ (No. 12) ¹⁾		
きゅうり (露地) (果実) S56 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(10%) 1000倍 250L/10a 3回, 5回散布	日植防 茨城	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	1	0.09	0.08	0.07	0.07
			3	3	0.02	0.02	0.05	0.05
			3	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			5	1	0.07	0.07	0.05	0.04
			5	3	<0.02	<0.02	0.05	0.04
			5	7	<0.02	<0.02	0.03	0.02
			東京農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02
		3		2	0.09	0.08	0.03	0.02
		3		5	0.02	0.02	<0.02	<0.02
		3		9	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		5		2	0.07	0.06	0.04	0.04
		5		5	0.02	0.02	0.02	0.02
		きゅうり (施設) (果実) S56 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(10%) 1000倍 250L/10a 3回, 5回散布	日植防 茨城	0	-	<0.02	<0.02
3	1				0.09	0.08	0.05	0.05
3	3				0.02	0.02	0.02	0.02
3	7				0.02	0.02	0.02	0.02
5	1				0.09	0.09	0.04	0.04
5	3				0.03	0.03	0.02	0.02
東京農試	0			-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	3			1	0.07	0.06	0.03	0.03
	3			3	0.02	0.02	0.03	0.02
	3			7	<0.02	<0.02	0.02	0.02
5	1	0.06	0.06	<0.02	<0.02			
5	3	0.03	0.03	<0.02	<0.02			
5	5	0.02	0.02	<0.02	<0.02			
5	7	0.02	0.02	<0.02	<0.02			

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析 センター(サントリーケイ公) ¹⁾	サンケイ化学(株) (サントリーケイ社) ¹⁾		
きゅうり (施設) (果実) S62 ガスクロ法	水和剤(2.5%) 500倍 250L/10a (大阪のみ 200L/10a、 千葉のみ 300L/10a) 3回 散布	日植防	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		高知	3	1	0.040	0.040	0.053	0.053
		日植防	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		宮崎	3	1	0.027	0.027	0.013	0.013
		鯉渕学園	0	-	/	/	<0.007	<0.007
		茨城	3	1	/	/	0.020	0.020
		新潟園試	0	-	/	/	<0.007	<0.007
		3	1	/	/	0.046	0.046	
		大阪農林 技術センター	0	-	/	/	<0.007	<0.007
		3	1	/	/	<0.007	<0.007	
サントリー化学 栃木	0	-	/	/	<0.007	<0.007		
3	1	/	/	0.013	0.013			
サントリー化学 群馬	0	-	/	/	<0.007	<0.007		
3	1	/	/	0.013	0.013			
サントリー化学 埼玉本庄	0	-	/	/	<0.007	<0.007		
3	1	/	/	0.013	0.013			
サントリー化学 埼玉深谷	0	-	/	/	<0.007	<0.007		
3	1	/	/	0.013	0.013			
千葉農試	0	-	/	/	<0.007	<0.007		
3	1	/	/	0.040	0.040			
					(財)日本食品分析センター (No. 31) ¹⁾	大日本インキ (No. 32) ¹⁾		
きゅうり (施設) (果実) S59 ガスクロ法 HPLC法	水和剤(5%) 1000倍 200L/10a 3回, 5回 散布	日植防 高知	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	1	0.033	0.027	0.046	0.046
			3	3	0.020	0.020	0.027	0.027
			5	1	0.053	0.046	0.053	0.046
		5	3	0.027	0.027	0.033	0.027	
		長崎 総農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	1	0.033	0.027	0.020	0.020
			3	3	0.020	0.013	0.020	0.013
5	1		0.027	0.027	0.040	0.040		
5	3	0.013	0.013	0.027	0.020			
					-	(株)日曹分析センター (No. 134) ³⁾		
きゅうり (施設) (果実) H27 HPLC法 【GLP】	水和剤(2.5%) 500倍 7回散布 167 L/10a(石川) 267 L/10a(福井) 206 L/10a(群馬) 159-278 L/10a(高知)	石川植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
		7	1	/	/	0.01	0.01	
		福井植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
		7	1	/	/	<0.01	<0.01	
群馬植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01		
7	1	/	/	0.02	0.02			
日植防 高知	0	-	/	/	<0.01	<0.01		
7	1	/	/	0.04	0.04			

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシ酢酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

3) 2016年10月25日提出

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (サンケイ No. 1) ¹⁾	(株)化学分析コンサルタント (サンケイ No. 2) ¹⁾		
かぼちゃ (露地) (果実) H2 ガスクロ法	水和剤(2.5%) 500倍 250L/10a 5回散布	神奈川 園試 三浦	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	1	0.013	0.013	<0.007	<0.007
			5	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		鹿児島 農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	1<0.007
			5	1	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
					(財)日本食品分析センター (クワイイ-カボチャ公) ¹⁾	(株)化学分析コンサルタント (クワイイ-カボチャ社) ¹⁾		
かぼちゃ (露地) (果実) H3 ガスクロ法	水和剤(5%) 1000倍 155~200L/10a(茨城) 200L/10a(石川) 4回散布	日植防 茨城	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		石川植防	4	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
					(財)日本食品分析センター (No. 43) ¹⁾	クワイ化学工業(株) (No. 44) ¹⁾		
すいか (施設) (果肉) S59 ガスクロ法	水和剤(5%) 1000倍 150L/10a 5回散布	日植防 茨城	0	-	<0.007	<0.007	<0.004	<0.004
			5	1	<0.007	<0.007	<0.004	<0.004
			5	3	<0.007	<0.007	<0.004	<0.004
		三重農技 センター	0	-	<0.007	<0.007	<0.004	<0.004
			5	1	<0.007	<0.007	<0.004	<0.004
			5	3	<0.007	<0.007	<0.004	<0.004
					(財)日本食品分析 センター(No. 51) ¹⁾	大日本インキ (No. 52) ¹⁾		
メロン (施設) (果肉) S61 ガスクロ法 HPLC法	水和剤(5%) 1000倍 150L/10a 5回散布	日植防 茨城	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	1	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	3	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
		鳥取園試 西伯	5	7	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	1	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	3	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	7	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所 (No. 5) ¹⁾		大日本インキ (No. 6) ¹⁾	
温州みかん (露地) (果肉) S49 ガスクロ法	液剤(25%) 500倍 500L/10a(愛媛) 1000L/10a(果試) 1回散布	愛媛果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04
			1	3	0.10	0.09	0.12	0.12
			1	8	0.04	0.03	0.07	0.07
			1	13	<0.02	<0.02	0.05	0.05
			1	18	0.07	0.07	<0.04	<0.04
		農林省 果試 興津支場	0	-	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04
			1	3	<0.02	<0.02	0.05	0.04
			1	8	<0.02	<0.02	0.04	0.04
			1	15	<0.02	<0.02	0.04	0.04
			1	18	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04
					(財)日本食品分析 センター(No. 21) ¹⁾		大日本インキ (No. 22) ¹⁾	
温州みかん (露地) (果肉) S58 ガスクロ法 HPLC法	水和剤(5%) 750倍 2回散布 400L/10a(和歌山) 500L/10a(鹿児島) 200倍 1回散布 400L/10a(和歌山) 500L/10a(鹿児島) 合計3回	和歌山 果園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		鹿児島 果試	3	28	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	28	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
					(財)日本食品分析 センター(No. 64) ¹⁾		大日本インキ (No. 65) ¹⁾	
温州みかん (施設) (果肉) H2 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 500L/10a 2回 散布	香川農試 府中	0	-	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	7	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	14	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
		大分柑試 津久見	0	-	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	7	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	14	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
					(財)日本食品分析 センター(No. 78) ¹⁾		大日本インキ (No. 79) ¹⁾	
温州みかん (施設) (果肉) H3 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 2000倍 5回散布 400L/10a(静岡) 500L/10a(鹿児島)	静岡柑試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	7	0.020	0.020	0.02	0.02
			5	14	0.033	0.027	<0.02	<0.02
		鹿児島 果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	7	0.013	0.013	0.02	0.02
			5	14	0.027	0.027	<0.02	<0.02

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析 センター(No. 88)	(株)化学分析コンサルタント (No. 89)		
温州みかん (施設) (果肉) H12 HPLC 法	液剤(25%) 2000 倍 400L/10a 3 回散布	大分柑試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	1	0.04	0.04	<0.02	<0.02
			3	3	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		鹿児島 植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	1	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	3	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
					日本植防協会研究所 (No. 104-1)	(株)日曹分析センター (No. 105)		
温州みかん (施設) (果肉) H17 LC/MS 法	7077 ^g /L(15.7%) 1500 倍 3 回 散布 400L/10a(山口) 550L/10a(大分)	山口 大島柑試	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			3	1	0.09	0.09	<0.04	<0.04
			3	7	0.05	0.05	<0.04	<0.04
			3	21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
		大分 肥料植防	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			3	1	0.05	0.05	<0.04	<0.04
			3	7	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			3	21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
					-	(株)日曹分析センター (No. 121)		
温州みかん (施設) (果肉) H18 HPLC 法	7077 ^g /L(15.7%) 1500 倍 3 回散布 400 L/10a (高知のみ 500 L/10a)	三重植防	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.09	0.09
			3	7	/	/	0.09	0.08
			3	21	/	/	0.07	0.06
		山口 大島柑試	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.06	0.06
			3	7	/	/	<0.04	<0.04
			3	21	/	/	<0.04	<0.04
		日植防 高知	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.13	0.12
			3	7	/	/	0.11	0.11
			3	21	/	/	0.04	0.04
		長崎果試	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.08	0.07
			3	7	/	/	0.06	0.06
			3	21	/	/	0.04	0.04
温州みかん (施設) (果肉) H19 HPLC 法	7077 ^g /L(15.7%) 1500 倍 500L/10a 3 回散布	三重植防	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.08	0.08
			3	7	/	/	0.13	0.12
			3	21	/	/	0.06	0.06
		日植防 高知	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.08	0.08
			3	7	/	/	0.07	0.06
			3	21	/	/	<0.04	<0.04

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所 (No. 5) ¹⁾	大日本インキ (No. 6) ¹⁾		
温州みかん (露地) (果皮) S49 ガスクロ法	液剤(25%) 500倍 1回散布 500L/10a(愛媛) 1000L/10a(果試)	愛媛果試	0	-	<0.07	<0.07	<0.07	<0.07
			1	3	0.20	0.20	1.86	1.79
			1	8	0.27	0.20	0.73	0.66
			1	13	0.27	0.27	0.73	0.66
			1	18	0.27	0.20	0.33	0.33
		農林省 果試 興津支場	0	-	<0.07	<0.07	<0.07	<0.07
			1	3	0.53	0.53	1.00	0.93
			1	8	0.86	0.86	1.39	1.33
			1	15	0.60	0.53	1.00	0.93
			1	18	0.60	0.53	0.73	0.66
					(財)日本食品分析センター (No. 21) ¹⁾	大日本インキ (No. 22) ¹⁾		
温州みかん (露地) (果皮) S58 ガスクロ法 HPLC法	水和剤(5%) 750倍 2回散布 400L/10a(和歌山) 500L/10a(鹿児島) 200倍 1回散布 400L/10a(和歌山) 500L/10a(鹿児島) 合計3回	和歌山 果園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	7	0.896	0.890	0.82	0.81
			3	14	0.558	0.558	0.63	0.62
			3	21	0.684	0.664	0.89	0.88
		鹿児島 果試	3	28	0.604	0.584	0.48	0.48
			0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	7	0.677	0.664	0.58	0.54
			3	14	0.465	0.452	0.51	0.48
			3	21	0.325	0.319	0.37	0.31
			3	28	0.212	0.206	0.21	0.19
					(財)日本食品分析センター (No. 64) ¹⁾	大日本インキ (No. 65) ¹⁾		
温州みかん (施設) (果皮) H2 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 500L/10a 2回散布	香川農試 府中	0	-	0.03	0.03	<0.06	<0.06
			2	7	2.57	2.56	2.71	2.70
			2	14	1.90	1.87	2.37	2.35
		大分柑試 津久見	0	-	<0.03	<0.03	<0.06	<0.06
			2	7	1.42	1.42	1.75	1.74
			2	14	1.55	1.51	1.65	1.64
					(財)日本食品分析 センター(No. 78) ¹⁾	大日本インキ (No. 79) ¹⁾		
温州みかん (施設) (果皮) H3 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 2000倍 400L/10a(静岡) 500L/10a(鹿児島) 5回散布	静岡柑試	0	-	<0.03	<0.03	<0.2	<0.2
			5	7	2.59	2.55	2.3	2.2
			5	14	2.05	1.99	2.1	2.1
		鹿児島 果試	0	-	<0.03	<0.03	<0.2	<0.2
			5	7	1.32	1.29	1.4	1.4
			5	14	1.33	1.30	1.2	1.1

1) 申請者計算(換算係数0.664を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシ酸塩として分析しているため換算係数0.266を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					イミノクタジン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)日本食品分析センター (No. 90)	(株)化学分析コンサルタント (No. 91)			
温州みかん (施設) (果皮) H12 HPLC 法	液剤(25%) 2000倍 400L/10a 3回散布	大分柑試	0	-	0.21	0.20	0.36	0.35	
			3	1	2.09	2.04	2.24	2.15	
			3	3	2.29	2.17	2.14	2.12	
			3	7	1.67	1.61	1.63	1.56	
		鹿児島 植防	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	
			3	1	0.98	0.96	1.45	1.44	
			3	3	0.69	0.68	1.19	1.18	
								0.99	0.98
					日本植防協会研究所 (No. 104-2)	(株)日曹分析センター (No. 105)			
温州みかん (施設) (果皮) H17 LC/MS 法	7077 [®] (15.7%) 1500倍 3回散布 400L/10a(山口) 550L/10a(大分)	山口 大島柑試	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	
			3	1	2.64	2.59	1.15	1.12	
			3	7	1.26	1.26	1.45	1.37	
		大分 肥料植防	3	21	0.91	0.90	0.61	0.61	
			0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	
			3	1	1.33	1.28	0.22	0.21	
			3	7	0.59	0.58	0.11	0.10	
								0.09	0.09
					-	(株)日曹分析センター (No. 121)			
温州みかん (施設) (果皮) H18 HPLC 法	7077 [®] (15.7%) 1500倍 3回散布 400 L/10a (高知のみ 500 L/10a)	三重植防	0	-	/	/	<0.04	<0.04	
			3	1	/	/	1.34	1.30	
			3	7	/	/	1.22	1.22	
			3	21	/	/	1.22	1.14	
		山口 大島柑試	0	-	/	/	<0.04	<0.04	
			3	1	/	/	0.83	0.80	
			3	7	/	/	0.74	0.71	
		日植防 高知	3	21	/	/	0.42	0.41	
			0	-	/	/	<0.04	<0.04	
			3	1	/	/	0.71	0.70	
		長崎果試	3	7	/	/	0.72	0.72	
			3	21	/	/	0.92	0.91	
			0	-	/	/	<0.04	<0.04	
3	1		/	/	0.62	0.60			
温州みかん (施設) (果皮) H19 HPLC 法	7077 [®] (15.7%) 1500倍 500L/10a 3回散布	三重植防	3	7	/	/	0.69	0.68	
			3	21	/	/	0.54	0.53	
			0	-	/	/	<0.04	<0.04	
			3	1	/	/	2.80	2.75	
		日植防 高知	3	7	/	/	1.56	1.52	
			3	21	/	/	1.02	1.00	
			0	-	/	/	<0.04	<0.04	
								1.59	1.48
								0.67	0.64
								0.61	0.60

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 25) ¹⁾	大日本インキ (No. 26) ¹⁾		
なつみかん (露地) (果肉) S58 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 500L/10a 1回散布	千葉 暖地園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			1	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			1	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			1	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			1	28	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		神奈川 園試 根府川	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			1	7	0.007	0.007	0.007	0.007
			1	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			1	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			1	28	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
					(財)日本食品分析 センター(No. 66) ¹⁾	大日本インキ (No. 67) ¹⁾		
なつみかん (露地) (果肉) H1 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 2回散布 400L/10a(山口) 500L/10a(大分)	山口 萩柑試	0	-	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	7	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	14	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
		大分柑試 津久見	0	-	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	7	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	14	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
					(財)日本食品分析 センター(No. 80) ¹⁾	大日本インキ (No. 81) ¹⁾		
なつみかん (露地) (果肉) H4 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 2000倍 400L/10a(千葉) 500L/10a(鹿児島) 3回散布	千葉 暖地園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	7	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	14	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
		鹿児島 果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	7	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	14	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
					(財)日本食品分析 センター(No. 25) ¹⁾	大日本インキ (No. 26) ¹⁾		
なつみかん (露地) (果皮) S58 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 500L/10a 1回散布	千葉 暖地園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			1	7	0.07	0.07	0.11	0.11
			1	14	0.02	0.02	0.07	0.07
			1	21	0.04	0.04	0.07	0.05
			1	28	0.05	0.05	0.09	0.08
		神奈川 園試 根府川	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			1	7	0.33	0.32	0.28	0.28
			1	14	0.25	0.24	0.27	0.24
			1	21	0.17	0.16	0.12	0.11
			1	28	0.09	0.08	0.14	0.12

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 66) ¹⁾	大日本インキ (No. 67) ¹⁾		
なつみかん (露地) (果皮) H1 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 2回散布 400L/10a(山口) 500L/10a(大分)	山口 萩柑試	0	-	<0.02	<0.02	<0.06	<0.06
			2	7	0.99	0.98	1.03	1.02
			2	14	0.65	0.65	0.64	0.64
		大分柑試 津久見	0	-	<0.02	<0.02	<0.06	<0.06
			2	7	0.80	0.76	0.82	0.82
			2	14	0.66	0.64	0.70	0.69
なつみかん (露地) (果皮) H3 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 400L/10a (千葉、神奈川、和歌山、徳島、 大分) 500L/10a (山口、長崎、鹿児島)	千葉 暖地試	0	-	/	/	<0.06	<0.06
			2	7	/	/	0.31	0.31
			2	14	/	/	0.29	0.29
		神奈川 園試 根府川	0	-	/	/	<0.06	<0.06
			2	7	/	/	0.68	0.66
			2	14	/	/	0.74	0.72
		和歌山 園試	0	-	/	/	<0.06	<0.06
			2	7	/	/	0.86	0.84
			2	14	/	/	0.81	0.81
		山口 萩柑試	0	-	/	/	<0.06	<0.06
			2	7	/	/	1.06	1.04
			2	14	/	/	0.68	0.66
		徳島果試	0	-	/	/	<0.06	<0.06
			2	7	/	/	0.74	0.73
2	14		/	/	0.80	0.78		
長崎果試	0	-	/	/	<0.06	<0.06		
	2	7	/	/	0.82	0.80		
	2	14	/	/	0.67	0.66		
大分柑試	0	-	/	/	<0.06	<0.06		
	2	7	/	/	0.99	0.97		
	2	14	/	/	0.97	0.96		
鹿児島 果試	0	-	/	/	<0.06	<0.06		
	2	7	/	/	0.58	0.55		
	2	14	/	/	0.42	0.40		
					(財)日本食品分析センター (No. 80) ¹⁾	大日本インキ (No. 81) ¹⁾		
なつみかん (露地) (果皮) H4 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 2000倍 400L/10a(千葉) 500L/10a(鹿児島) 3回散布	千葉 暖地園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.2	<0.2
			3	7	0.78	0.74	0.7	0.6
			3	14	0.31	0.31	0.4	0.3
		鹿児島 果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.2	<0.2
			3	7	0.42	0.42	0.3	0.3
			3	14	0.11	0.10	0.3	0.3

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシル酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本植防協会研究所 (No. 94)	大日本インキ (No. 95)		
なつみかん (露地) (果実全体) H15 HPLC 法	液剤(25%) 2000 倍 495L/10a(和歌山) 400L/10a(大分) 2 回 散布	和歌山 植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
			2	1	0.37	0.36	0.19	0.18
			2	7	0.13	0.13	0.11	0.11
			2	21	0.02	0.02	0.07	0.07
		大分 肥料植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
			2	1	0.4	0.39	0.28	0.28
			2	7	0.31	0.30	0.24	0.24
			2	21	0.13	0.13	0.12	0.12
					(財)日本食品分析センター (No. 97)	(株)化学分析コンサルタント (No. 98)		
なつみかん (露地) (果実全体) H16 HPLC 法	水和剤(5%) 750 倍 1200L/10a(山口) 640L/10a(大分) 2 回 散布	山口 萩柑試	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			2	1	0.16	0.16	0.24	0.24
			2	3	0.16	0.16	0.21	0.21
			2	21	0.05	0.05	0.07	0.07
		大分 肥料植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			2	1	0.06	0.06	0.17	0.16
			2	3	0.07	0.07	0.13	0.12
			2	21	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
					日本植防協会研究所 (No. 106)	(株)日曹分析センター (No. 107)		
なつみかん (露地) (果実全体) H17 HPLC 法	7077 L(15.7%) 1500 倍 400L/10a 2 回 散布	三重植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			2	1	0.48	0.46	0.11	0.11
			2	7	0.13	0.13	0.08	0.08
			2	21	0.15	0.14	0.06	0.06
		日植防 宮崎	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			2	1	0.30	0.30	0.20	0.19
			2	7	0.17	0.17	0.13	0.12
			2	21	0.15	0.15	0.09	0.08
					-	大日本インキ (No. 96)		
小粒柑橘 (露地) (果実全体) H15 HPLC 法	液剤(25%) 2000 倍 400L/10a(和歌山) 500L/10a(徳島) 600L/10a(大分) 840-1120L/10a(山口) 2 回 散布	和歌山 植防 (ゆず)	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			2	1	/	/	0.11	0.10
			2	3	/	/	0.09	0.09
			2	21	/	/	0.05	0.05
		山口 萩柑試 (ゆず)	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			2	1	/	/	0.47	0.46
			2	3	/	/	0.37	0.37
			2	21	/	/	0.15	0.14
		徳島植防 (すだち)	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			2	1	/	/	0.44	0.43
			2	3	/	/	0.25	0.24
			2	21	/	/	<0.05	<0.05
		大分柑試 (かぼす)	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			2	1	/	/	0.21	0.21
			2	3	/	/	0.16	0.15
			2	21	/	/	0.06	0.06

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					イミノクタジン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
						(株)化学分析コンサルタント (No. 99)			
小粒柑橘 (露地) (果実全体) H15 HPLC 法	水和剤(5%) 750 倍 400L/10a(徳島) 640L/10a(大分) 2 回 散布	徳島植防 (すだち)	0	-	/	/	<0.05	<0.05	
			2	1			0.12	0.12	
			2	3			0.11	0.10	
			2	21			0.09	0.09	
		大分 肥料植防 (かぼす)	0	-	/	/	<0.05	<0.05	
			2	1			0.12	0.12	
			2	3			<0.05	<0.05	
			2	21			<0.05	<0.05	
						(株)日曹分析センター (No. 108)			
小粒柑橘 (露地) (果実全体) H17 HPLC 法	7077 ^g /L(15.7%) 1500 倍 2 回 散布 500L/10a(徳島) 640L/10a(大分)	徳島植防 (すだち)	0	-	/	/	<0.04	<0.04	
			2	1			0.19	0.18	
			2	14			0.05	0.04	
			2	28			0.06	0.05	
		大分 肥料植防 (かぼす)	0	-	/	/	<0.04	<0.04	
			2	1			0.08	0.08	
			2	13			<0.04	<0.04	
			2	28			<0.04	<0.04	
					(財)残留農薬研究所 (No. 1) ¹⁾	大日本インキ (No. 2) ¹⁾			
りんご (露地) (果実) S54 ガスクロ法	液剤(25%) 500 倍 2 回散布 250L/10a,50L/樹 塗布剤(3%) 原液 1 回塗布 合計 3 回	北海道 中央農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	189	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
		青森 畑作園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	182	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
		液剤(25%) 500 倍 2 回散布 250L/10a,50L/樹 塗布剤(3%) 原液 1 回塗布	北海道 中央農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
				11	14	0.13	0.13	0.09	0.09
	青森 畑作園試		11	30	0.09	0.09	0.05	0.05	
			11	50	0.05	0.05	0.05	0.04	
	液剤(25%) 1000 倍 250L/10a 8 回散布 合計 11 回	青森 畑作園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			11	14	0.02	0.02	0.04	0.04	
	11	28	0.07	0.07	0.07	0.07			
	11	43	0.09	0.09	0.09	0.09			

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアセテートとして分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析 センター(No. 23) ¹⁾	大日本インキ (No. 24) ¹⁾		
りんご (露地) (果実) S58 ガスクロ法 HPLC 法	塗布剤(3%) 原液 1回樹幹塗布 液剤(25%) 1000倍 4回散布 500L/10a(秋田) 600L/10a(長野) 合計5回	秋田果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	30	0.120	0.120	0.053	0.053
			5	45	0.113	0.106	0.100	0.100
			5	60	0.093	0.093	0.093	0.080
	長野植防	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	
		5	30	0.080	0.080	0.046	0.040	
		5	45	0.033	0.027	0.046	0.040	
		5	60	0.040	0.040	0.020	0.013	
					(財)日本食品分析 センター(No. 39) ¹⁾	大日本インキ (No. 40) ¹⁾		
りんご (露地) (果実) S61 ガスクロ法 HPLC 法	液剤(25%) 1000倍 3回散布 300L/10a(青森) 500L/10a(長野) 塗布剤(3%) 原液 1回塗布 合計 4回	青森 りんご試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			4	147	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
		長野植防	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			4	171	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
	青森 りんご試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
		6	30	0.040	0.040	0.07	0.07	
		6	46	0.027	0.027	0.05	0.04	
		6	60	0.020	0.020	0.02	0.02	
		長野植防	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			6	30	0.066	0.066	0.07	0.07
					(財)日本食品分析 センター(No. 45) ¹⁾	大日本インキ (No. 46) ¹⁾		
りんご (露地) (果実) S62 ガスクロ法 HPLC 法	液剤(25%) 1500倍 5回散布 600L/10a(青森) 700L/10a(秋田)	青森 りんご試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	30	<0.007	<0.007	0.03	0.03
	秋田果試	5	40	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
		0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
		5	30	0.013	0.013	0.03	0.03	
		5	45	0.020	0.013	0.02	0.02	

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析 センター(No. 60) ¹⁾	大日本インキ (No. 61) ¹⁾		
りんご (露地) (果実) HI ガスクロ法 HPLC 法	液剤(25%) 1500倍 5回散布 600L/10a(山形、長野、岩手) 700L/10a(秋田、新潟)	山形園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	21	0.066	0.066	0.05	0.04
			5	31	0.060	0.053	0.04	0.04
		長野植防 南信	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	21	0.013	0.013	<0.02	<0.02
			5	30	0.007	0.007	<0.02	<0.02
		秋田果試	0	-			<0.02	<0.02
			5	21			0.08	0.08
			5	30			0.06	0.05
		岩手園試	0	-			<0.02	<0.02
			5	21			0.08	0.08
			5	30			0.06	0.06
		新潟農試	0	-			<0.02	<0.02
			5	20			0.04	0.04
5	30				0.02	0.02		
長野植防 須坂	0	-			<0.02	<0.02		
	5	21			0.03	0.03		
	5	30			0.02	0.02		
					-	大日本インキ (No. 68) ¹⁾		
りんご (露地)(果実) H2 HPLC 法	液剤(25%) 1500倍 600L/10a 5回散布	長野植防 須坂	0	-			<0.02	<0.02
			5	20			0.02	0.02
			5	30			<0.02	<0.02
青森 りんご試		0	-			<0.02	<0.02	
		5	21			0.03	0.03	
		5	30			<0.02	<0.02	
りんご (露地) (果実) H3 HPLC 法		長野植防 須坂	0	-			<0.02	<0.02
			5	21			<0.02	<0.02
			5	30			<0.02	<0.02
長野植防 南信		0	-			<0.02	<0.02	
		5	21			<0.02	<0.02	
		5	30			<0.02	<0.02	

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシム酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
					公的分析機関		社内分析機関					
					イミノクタジン							
					最高値	平均値	最高値	平均値				
					-							
					(株)日曹分析センター(No. 109)							
りんご (露地) (果実) H17 HPLC 法	液剤(25%) 500倍 300L/10a 3回散布(展葉期) 塗布剤(3%) 原液 2回 塗布 1500倍 500L/10a 3回散布 合計 8回	石川植防	0	-	/	/	/	/	/			
			8	1						<0.02	<0.02	
			8	3						0.07	0.07	
			8	7						0.06	0.06	
		8	21	0.03	0.03							
		8	21	<0.02	<0.02							
		長野植防	0	-	/	/	/	/	/	/		
			8	1							<0.02	<0.02
8	3		0.03	0.03								
8	7		<0.02	<0.02								
8	21	<0.02	<0.02									
					-							
					(株)日曹分析センター(No. 112)							
りんご (露地) (果実) H18 HPLC 法	液剤(25%) 500倍 300L/10a 3回散布(展葉期) 塗布剤(3%) 原液 2回 塗布 1500倍 500L/10a 3回散布 合計 8回	長野植防 須坂	0	-	/	/	/	/	/			
			8	1						<0.02	<0.02	
			8	3						0.24	0.22	
			8	7						0.10	0.10	
		8	21	0.10	0.10							
		8	21	0.03	0.02							
		石川植防	0	-	/	/	/	/	/	/		
			8	1							<0.02	<0.02
8	3		0.21	0.20								
8	7		0.11	0.10								
8	21	0.09	0.08									
8	21	0.06	0.05									
					日本植防協会研究所 (No. 110)							
					(株)エスコ (No. 111)							
りんご (露地) (果実) H15 HPLC 法	液剤(25%) 500倍 300L/10a 3回散布(展葉期) 塗布剤(3%) 原液 2回 塗布 水和剤(7%) 750倍 3回 散布 600L/10a(青森) 500L/10a(石川、岩手、長野) 合計 8回	青森植防	0	-	/	/	/	/	/			
			8	1						<0.02	<0.02	
			8	3						0.11	0.11	
			8	14						0.09	0.09	
		8	14	0.10	0.10							
		8	14	0.08	0.08							
		石川植防	0	-	/	/	/	/	/	/		
			8	1							<0.02	<0.02
			8	3							0.05	0.05
			8	14							0.03	0.03
		8	14	0.05	0.04							
		8	14	0.02	0.02							
岩手植防	0	-	/	/	/	/	/	/				
	8	1							<0.02	<0.02		
	8	3							0.08	0.08		
	8	14							0.04	0.04		
8	14	0.04	0.04									
長野植防	0	-	/	/	/	/	/	/				
	8	1							<0.02	<0.02		
	8	3							0.08	0.08		
	8	14							0.02	0.02		
8	14	<0.02	<0.02									

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析 センター(No. 41) ¹⁾	大日本インキ (No. 42) ¹⁾		
なし (露地) (果実) S60 ガスクロ法 HPLC法	水和剤(7%) 1000倍 5回 散布 500L/10a(福島) 350L/10a(千葉)	福島植防	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	14	0.120	0.120	0.12	0.12
			5	28	0.073	0.073	0.07	0.07
			5	45	0.007	0.007	<0.02	<0.02
		千葉農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	14	0.053	0.053	0.06	0.06
			5	28	0.033	0.033	0.03	0.03
			5	45	0.100	0.093	0.08	0.08
					(財)日本食品分析センター (No. 47) ¹⁾	大日本インキ (No. 48) ¹⁾		
なし (露地) (果実) S62 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回散布	岩手園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			1	158	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
		長野植防 南信	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			1	153	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
					-	大日本インキ (No. 55) ¹⁾		
なし (露地)(果実) S63 HPLC法	塗布剤(3%) 3倍 2回塗布	秋田果試 天王	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			2	113	/	/	<0.02	<0.02
		茨城園試	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			2	62	/	/	<0.02	<0.02
					(財)日本食品分析 センター(No. 56-0) ¹⁾	大日本インキ (No. 56) ¹⁾		
なし (露地) (果実) S63 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回散布(休眠期) 塗布剤(3%) 3倍 2回塗布 水和剤(5%) 1500倍 3回散布 400L/10a(福井)、500L/10a(鳥 取) 合計6回	福井農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			6	14	0.040	0.04	0.05	0.04
			6	21	0.033	0.027	0.05	0.05
			6	30	0.027	0.027	0.03	0.03
		鳥取果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			6	14	0.046	0.046	0.06	0.05
	液剤(25%) 500倍 250L/10a 1回散布(休眠期) 塗布剤(3%) 3倍 2回塗布 水和剤(5%) 1500倍 400L/10a 3回散布 合計6回	長野植防 南信	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			6	14	0.033	0.033	0.06	0.05
			6	21	0.013	0.013	0.02	0.02
			6	30	0.013	0.013	0.03	0.02

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 62) ¹⁾	(株)化学分析コンサルタント (No. 63) ¹⁾		
なし (露地) (果実) S63-H1 ガスクロ法	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回休眠期散布 塗布剤(3%) 3倍 1回樹幹塗布 水和剤(10%) 1000倍 500L/10a 3回散布 合計 5回	鯉渚学園	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	21	0.126	0.120	0.086	0.080
			5	30	0.066	0.066	0.040	0.040
			5	45	0.020	0.020	0.013	0.013
		長野植防 南信	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	21	0.080	0.080	0.033	0.033
			5	30	0.013	0.013	0.007	0.007
			5	45	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		千葉農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	21	0.173	0.173	0.179	0.173
			5	30	0.066	0.060	0.086	0.086
			5	45	0.053	0.046	0.020	0.020
なし (露地) (果実) H2 ガスクロ法	3倍 1回樹幹塗布 水和剤(10%) 1000倍 500L/10a 3回散布 合計 5回	鳥取果樹 野菜試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	21	0.139	0.139	0.173	0.173
			5	30	0.080	0.080	0.066	0.066
			5	45	0.033	0.033	0.013	0.013
					-	大日本インキ (No. 73) ¹⁾		
なし (露地) (果実) H4 HPLC法	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回散布 塗布剤(3%) 3倍 2回塗布 水和剤(7%) 1000倍 500L/10a 3回散布 合計 6回	鯉渚学園	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			6	30	/	/	0.06	0.06
			6	44	/	/	0.03	0.03
		長野植防 南信	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			6	30	/	/	0.05	0.05
			6	45	/	/	0.02	0.02
					(財)日本食品分析センター (No. 71) ¹⁾	大日本インキ (No. 72) ¹⁾		
西洋なし (露地) (果実) H3 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1500倍 500L/10a(岩手) 700L/10a(秋田) 2回散布	岩手園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			2	30	0.033	0.027	0.03	0.03
			2	45	0.007	0.007	0.02	0.02
			2	60	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
		秋田果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			2	30	0.013	0.013	0.02	0.02
			2	45	0.007	0.007	<0.02	<0.02
			2	60	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシル酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 84) ¹⁾	大日本インキ (No. 85) ¹⁾		
西洋なし (露地) (果実) H4 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 250倍 1回散布 250L/10a(岩手) 350L/10a(秋田) 塗布剤(3%) 原液 2回塗布	岩手園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			6	30	0.040	0.040	0.033	0.027
			6	45	0.013	0.013	0.020	0.020
			6	60	0.007	0.007	0.020	0.020
	液剤(25%) 1500倍 3回散布 500L/10a(岩手) 700L/10a(秋田) 合計 6回	秋田果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			6	30	0.020	0.013	0.060	0.053
			6	45	0.007	0.007	0.020	0.020
			6	60	0.007	0.007	0.013	0.013
					(財)日本食品分析センター (サンケイ-ココ公) ¹⁾	サンケイ化学(株) (サンケイ-ココ社) ¹⁾		
もも (露地) (果肉) S58 ガスクロ法	水和剤(5%) 1000倍 3回 散布 500L/10a(山形) 800L/10a(山梨)	山形 砂丘地 農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	7	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	14	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	21	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
	山梨果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
		3	7	<0.007	<0.007	0.02	0.02	
		3	14	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
		3	21	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
					(財)日本食品分析 センター(No. 57) ¹⁾	大日本インキ (No. 58) ¹⁾		
もも (露地) (果肉) S63 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回樹枝休眠期散布	長野植防 須坂	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			1	149	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
		福岡 農総試 豊前	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			1	118	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
					(財)日本食品分析センター (サンケイ-ココ公) ¹⁾	サンケイ化学(株) (サンケイ-ココ社) ¹⁾		
もも (露地) (果皮) S58 ガスクロ法	水和剤(5%) 1000倍 3回 散布 500L/10a(山形) 800L/10a(山梨)	山形 砂丘地 農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	7	0.465	0.452	0.63	0.62
			3	14	0.246	0.239	0.64	0.57
			3	21	0.100	0.093	0.13	0.13
	山梨果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
		3	7	0.604	0.584	0.46	0.46	
		3	14	0.325	0.319	0.42	0.42	
		3	21	0.286	0.279	0.36	0.35	

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					イミノクタジン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)日本食品分析センター (No. 57) ¹⁾	大日本インキ (No. 58) ¹⁾			
もも (露地) (果皮) S63 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回樹枝休眠期散布	長野植防 須坂	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
			1	149	0.007	0.007	0.02	0.02	
		福岡 農総試 豊前	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
			1	118	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
					(財)日本食品分析 センター(No. 59-0) ¹⁾	大日本インキ (No. 59) ¹⁾			
うめ (露地) (果実) S63 ガスクロ法 HPLC法	水和剤(5%) 1000倍 500L/10a 3回散布	長野植防 南信	0	-	<0.007	0.007	<0.02	<0.02	
			3	14	0.066	0.066	0.09	0.09	
			3	21	0.027	0.027	0.03	0.03	
			3	28	0.053	0.053	0.05	0.05	
			3	45	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
		和歌山 果園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
			3	14	0.080	0.080	0.10	0.09	
			3	21	0.027	0.027	0.05	0.04	
			3	28	0.027	0.027	0.04	0.04	
			3	45	0.033	0.033	0.05	0.05	
					(財)残留農薬研究所 (No. 3) ¹⁾	八洲化学工業(株) (No. 4) ¹⁾			
ぶどう (露地) (果実) S56 ガスクロ法	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回 散布	山形園試 (小粒)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	
			1	103	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	
		岩手園試 (大粒)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	
			1	147	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	
			0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	
	山形園試 (小粒)	8	14	0.23	0.17	0.21	0.21		
		8	21	0.10	0.07	0.21	0.20		
		8	30	0.08	0.08	0.10	0.09		
		0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03		
		8	14	0.40	0.40	0.43	0.41		
岩手園試 (大粒)	8	21	0.27	0.24	0.37	0.37			
	8	31	0.29	0.27	0.19	0.19			
					(財)日本食品分析センター (No. 27) ¹⁾	サンケイ化学(株) (No. 28) ¹⁾			
ぶどう (露地) (果実) S58 ガスクロ法	液剤(25%) 2000倍 300L/10a 4回散布	千葉 原種農場 (小粒)	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
			4	30	0.252	0.239	0.43	0.43	
			4	45	0.093	0.093	0.13	0.13	
			4	60	0.007	0.007	<0.02	<0.02	
		奈良農試 (小粒)	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
			4	30	0.153	0.146	0.31	0.31	
			4	44	0.086	0.080	0.18	0.17	
			4	58	0.013	0.013	0.05	0.05	

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析 センター(No. 74) ¹⁾	大日本インキ (No. 75) ¹⁾		
ぶどう (施設) (果実) H4 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 2000倍 300L/10a 2回散布 1000倍 300L/10a 2回散布 合計4回	岩手園試 (小粒)	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			4	60	0.153	0.153	0.10	0.09
			4	75	0.020	0.013	0.02	0.02
		滋賀農試 (小粒)	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
					(財)日本食品分析センター (No. 122)	(株)日曹分析センター (No. 123)		
ぶどう (施設)(果実) H19 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 250L/10a 2回散布	福島植防 (大粒)	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			2	45	0.34	0.34	0.25	0.24
			2	60	0.19	0.19	0.16	0.15
		2	70	0.13	0.12	0.12	0.12	
					-	(株)日曹分析センター (No. 135) ³⁾		
ぶどう (施設) (果実) H29 HPLC法 【GLP】	液剤(25%) 250倍 1回散布(休眠期) 267L/10a(岩手) 333L/10a(石川) 1000倍 2回散布 333L/10a 合計3回	岩手植防 (大粒)	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	45	/	/	0.15	0.14
			3	60	/	/	0.10	0.10
		石川植防 (小粒)	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	45	/	/	0.39	0.38
			3	60	/	/	0.40	0.40
3	75	/	/	<0.01	<0.01			
					(財)日本食品分析センター (クミイカキ 公) ¹⁾	(株)化学分析コンサルタント (クミイカキ社) ¹⁾		
かき (露地) (果実) H2 ガスクロ法	水和剤(5%) 1000倍 3回散布 400L/10a(和歌山) 500L/10a(山口)	和歌山 果園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	30	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	45	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	60	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		山口 萩柑試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	22	0.066	0.066	0.013	0.013
			3	30	0.033	0.033	<0.007	<0.007
3	45	0.027	0.027	<0.007	<0.007			
3	61	0.013	0.013	<0.007	<0.007			
					(財)日本食品分析センター (No. 125)	(株)日曹分析センター (No. 126)		
かき (露地) (果実) H19 HPLC法	水和剤(5%) 1000倍 700L/10a 3回散布	岐阜植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	14	0.04	0.04	<0.02	<0.02
			3	21	0.06	0.06	<0.02	<0.02
			3	28	0.03	0.03	<0.02	<0.02
		和歌山 植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	14	0.05	0.05	0.03	0.03
			3	21	0.03	0.03	<0.02	<0.02
			3	28	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02

1) 申請者計算(換算係数0.664を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため換算係数0.266を乗じてイミノクタジンに換算)

3) 2018年2月22日提出

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジン酢酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所 (No. 19) ¹⁾	大日本インキ (No. 20) ¹⁾		
くり (露地) (果実) S58 ガスクロ法 HPLC法	塗布剤(3%) 原液 100g/樹 2回塗布	熊本果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
			2	106	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
					(財)残留農薬研究所 (No. 13) ¹⁾	サンケイ化学(株) (No. 14) ¹⁾		
茶 (露地) (製茶) S56 ガスクロ法	水和剤(10%) 2000倍 200L/10a 3回散布	愛知 農総試 畑地技術 実験農場	0	-	<0.03	<0.03	<0.02	<0.02
			3	7	0.83	0.80	0.82	0.80
			3	14	0.25	0.21	0.25	0.23
		奈良農試 茶業分場	0	-	<0.03	<0.03	<0.02	<0.02
			3	7	0.98	0.89	0.81	0.72
			3	14	0.25	0.24	0.27	0.24
3	21	0.15	0.14	0.03	0.02			
					(財)日本食品分析センター (No. 53) ¹⁾	大日本インキ (No. 54) ¹⁾		
茶 (露地) (荒茶) S62 ガスクロ法	液剤(25%) 1000倍 400L/10a 3回散布	神奈川 園試 津久井	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	40	0.09	0.09	0.05	0.05
			3	50	0.02	0.02	0.04	0.03
		三重農技 センター 茶業セ	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	40	0.06	0.05	0.03	0.03
3	50	0.02	0.02	0.02	0.02			
						大日本インキ (サンケイ茶社)		
茶 (露地)(荒茶) H4 HPLC法	水和剤(2.5%) 500倍 200L/10a 3回散布	埼玉茶試	0	-			<0.04	<0.04
			3	14			0.08	0.08
			3	21			<0.04	<0.04
茶 (露地) (荒茶) H5 HPLC法		埼玉茶試	0	-			<0.04	<0.04
			3	14			0.14	0.14
			3	21			0.10	0.08
鹿児島 茶試	0	-			<0.04	<0.04		
	3	14			0.13	0.12		
3	21			0.04	0.04			

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアハベシル酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある